

Title	巽孝之教授履歴・研究業績
Sub Title	Biographical resume & list of publication of Professor Takayuki Tatsumi
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2020
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.119, No.1 (2020. 12) ,p.i- lvii
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	巽孝之教授退任記念論文集
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01190001--005">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01190001--005</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

巽孝之教授 履歷・研究業績



## 巽孝之教授 略年譜

- 1955年5月15日 東京都渋谷区恵比寿3丁目34番11号(旧・伊達町86)に生まれる。父は上智大学文学英文科教授・巽豊彦(専門はオックスフォード運動の立役者ジョン・ヘンリー・ニューマン)、母は巽千鶴子。父方の祖父・巽孝之丞は横浜正金銀行ロンドン支店長を務め、ロンドン駐在時には南方熊楠、小泉信三、水上瀧太郎らと交流をもっていた。
- 1959年 聖心女子学院附属幼稚園に入園。
- 1962年 学習院初等科に入学。恐竜好きな少年として育つ。
- 1968年 学習院中等科に進む。SFおよびロックに彩られた学生生活を送る。1971年に学習院高等科に進学。
- 1974年 上智大学英文科に入学。在学中に渡欧および渡米を経験。卒業論文は比較文学研究「サミュエル・ベケットと安部公房の実存認識」、主査はウィリアム・カリー教授。
- 1978年 上智大学大学院文学研究科英米文学専攻修士課程、1980年に同博士課程に進学。指導教授は日本アメリカ文学会第3代会長を務めた刈田元司教授だったが、同教授退職後はピューリタン文学研究の権威・秋山健教授、ヨーロッパ文学思想史の専門家・高柳俊一教授の薫陶をうける。
- 1982年 刈田教授の勧めで慶應義塾大学法学部英語助手に就任。慶應法学部助手時代の指導教授は、アメリカ詩研究のみならずジャズ評論でも高名な鍵谷幸信教授。
- 1984年 論文「作品主権をめぐる暴力——*Narrative of Arthur Gordon Pym*小論」にて、第7回日本英文学会新人賞を受賞。
- 1984年 慶應義塾大学およびフルブライト奨学金の援助により、米国コーネル大学大学院英文学博士課程に留学。コーネル大学での指導教授は主査ジョナサン・カラー、副査シンシア・チェイスおよびデブラ・フリ

ードであった。1987年に博士号学位請求論文“Disfiguration of Genres: A Reading in the Rhetoric of Edgar Allan Poe”により博士号 (Ph.D.) を授与される。

- 1989年 著書『サイバーパンク・アメリカ』で1988年度日米友好基金アメリカ研究図書賞文学部門受賞。
- 1989年 慶應義塾大学文学部へ移籍、同英米文学専攻助教授となる。
- 1992年 編訳書『サイボーグ・フェミニズム ―ハラウエイ、ディレイニー、サーモンズン』で第2回日本翻訳大賞思想部門受賞。
- 1996年 著書『ニュー・アメリカニズム ―米文学思想史の物語学』で平成8年度慶應義塾大学福澤賞受賞。
- 1997年 同教授。
- 2001年 編著『日本SF論争史』で第21回日本SF大賞受賞。  
日本マーク・トウェイン協会英文号編集主幹。
- 2004年 日本英文学会理事、アメリカ学会年報編集委員長および常任理事に就任。
- 2005年 日本アメリカ文学会東京支部長 (2009年3月まで)。
- 2008年 米国学術誌 *Journal of Transnational American Studies* 編集委員。
- 2009年 日本ポー学会第2代会長に就任。
- 2010年 *Full Metal Apache* 他の業績により2010年度国際幻想芸術学会 (IAFA) 学術賞受賞。
- 2013年 日本メルヴィル学会副会長。
- 2014年 日本アメリカ文学会第16代会長 (2018年3月まで)。
- 2017年 慶應義塾大学アメリカ学会発起人代表。
- 2018年 慶應義塾大学藝文学会委員長。
- 2019年 *Journal of Keio American Studies* 編集委員長。

#### 〈付記〉

慶應義塾在職中に非常勤 (兼任) 講師として出講したのは、東京都立大学 (首都大学東京)、学習院大学、東京女子大学、広島大学、金沢大学、東京大学、筑波大学、京都大学、京都府立大学、大阪市立大学、関西学院大学、関西大学、神戸大学、福岡女子大学、日本女子大学、海外ではオスロ大学他多数におよぶ。また国内外の数々の学会誌の編集委員、刊行物のシリーズ顧問を歴任。

## 業績一覧

### 著書 (単著)

1. 『サイバーパンク・アメリカ』(勁草書房、1988年)
2. 『現代SFのレトリック』(岩波書店、1992年)
3. 『メタフィクションの謀略』(筑摩書房、1993年、ちくま学芸文庫、2001年)
4. 『ジャパノイド宣言』(早川書房、1993年)
5. 『E・A・ボウを読む』(岩波書店、1995年)
6. 『ニュー・アメリカニズム — 米文学思想史の物語学』(青土社、1995年、増補新装版、2005年、増補決定版、2019年)
7. 『ニューヨークの世紀末』(筑摩書房、1995年)
8. 『トマス・ジェファソンとアメリカ文学』(慶應義塾大学、1997年)
9. 『恐竜のアメリカ』(筑摩書房、1997年)
10. 『日本変流文学』(新潮社、1998年)
11. 『メタファーはなぜ殺される — 現在批評講義』(松柏社、2000年)
12. 『アメリカ文学史のキーワード』(講談社、2000年)
13. 『アメリカン・ソドム』(研究社、2001年)
14. 『「2001年宇宙の旅」講義』(平凡社、2001年)
15. 『リンカーンの世紀 — アメリカ大統領たちの文学思想史』(青土社、2002年)
16. 『プログレッシヴ・ロックの哲学』(平凡社、2002年、増補新版、河出書房新社、2016年)
17. 『アメリカ文学史 — 駆動する物語の時空間』(慶應義塾大学出版会、2003年)
18. 『「白鯨」アメリカン・スタディーズ』(みすず書房、2005年)
19. *Full Metal Apache: Transactions between Cyberpunk Japan and Avant-Pop America* (Duke University Press, 2006)
20. 『想い出のブックカフェ — 巽孝之書評集成』(研究社、2009年)

21. 『エドガー・アラン・ポー——文学の冒険家』（NHK ブックス、2012年）
22. 『モダニズムの惑星——英米文学思想史の修辞学』（岩波書店、2013年）
23. 『盗まれた廃墟——ポール・ド・マンのアメリカ』（彩流社、2016年）
24. *Young Americans in Literature: The Post-Romantic Turn in the Age of Poe, Hawthorne and Melville*. Sairyusha Publishers, 2018.
25. 『パラノイドの帝国——アメリカ文学精神史』（大修館書店、2018年）

## 訳書

1. （編訳）ダナ・ハラウエイ、サミュエル・ディレイニー、ジェシカ・アマンダ・サーモンズ 『サイボーグ・フェミニズム』 小谷真理と共訳（トレヴィル、1991年、増補新装版、水声社、2001年）
2. （編訳）ラリイ・マキャフリイ 『アヴァン・ポップ』 越川芳明と共編訳（筑摩書房、1995年）
3. （編訳）J・G・バラード他 『この不思議な地球で』 浅倉久志他、増田まもる他と共訳（紀伊國屋書店、1996年）
4. （共訳）スタニスワフ・レム 『高い城・文学エッセイ』 沼野充義、芝田文乃他と共訳（国書刊行会、2004年）
5. （個人訳）エドガー・アラン・ポー 『黒猫、アッシャー家の崩壊』（新潮社、2009年）
6. ————— 『モルグ街の殺人、黄金虫』（新潮社、2009年）
7. ————— 『大渦巻への落下、灯台』（新潮社、2015年）
8. ————— 『アーサー・ゴードン・ピムの冒険』（集英社、2016年）

## 編著（単独編集以外は共編、監修と明記）

1. 『ウィリアム・ギブスン』 現代作家ガイド3（彩流社、1997年、増補新版、2015年）
2. 『身体未来』（トレヴィル、1998年）
3. （渡部桃子と共編）『物語のゆらめき——アメリカン・ナラティブの意識史』（南

- 雲堂、1998年)
4. *Future War Novels of the 1890s*. Routledge/Thoemmes Press, 1998.
  5. (監修)『フィルムメーカーズ8——スタンリー・キューブリック』(キネマ旬報社、1999年)
  6. 『週刊朝日百科世界の文学 31 南北アメリカ I —— ヴァイキングの文学』(朝日新聞社、2000年)
  7. 『週刊朝日百科世界の文学 48 南北アメリカ II —— SFと変流文学』(朝日新聞社、2000年)
  8. 『日本SF論争史』(勁草書房、2000年)
  9. (監修)『20世紀の巨人——Giants of the Century』ビデオ・DVD全11巻(IVC-紀伊国屋書店、2000年–2001年)
  10. (Co-edited with Larry McCaffery and Sinda Gregory) *New Japanese Fiction (Review of Contemporary Fiction, vol. 22, no. 2, 2002)*, Dalkey Archive Press, 2002
  11. (坂上貴之、宮坂敬造、坂本光と共編)『ユートピアの期限』(慶應義塾大学出版会、2002年)
  12. (松尾式之、小田隆裕、柏木博、能登路雅子、吉見俊哉と共編)『事典 現代のアメリカ』(大修館書店、2004年)
  13. *Гордев Узел* (『ゴルドニアスの結び目——現代日本SF傑作選』). Inostranka Publishers / Japan Foundation, 2004
  14. (坂上貴之、宮坂敬造、岡田光弘、坂本光と共編)『幸福の逆説』(慶應義塾大学出版会、2005年)
  15. *American Gothic* (Part 1 [1820-1860 Gothic and Sensational Literature], 7 vols. & Part 2 [1860-1940], 8 vols.), Athena Press, 2005 & 2007
  16. (上杉忍と共編)『アメリカの文明と自画像』(ミネルヴァ書房、2006年)
  17. (荻野アンナと共編)『人造美女は可能か?』(慶應義塾大学出版会、2006年)
  18. (Co-edited with Christopher Bolton and Istran Csicery-Ronay) *Robot Ghosts, Wired Dreams: Japanese Science Fiction from Origins to Anime*. University of Minnesota Press, 2007
  19. (富山太佳夫、立石弘道、宇野邦一と共編)『D.H. ロレンスとアメリカ、帝国』(慶應義塾大学出版会、2008年)

20. 『反知性の帝国——アメリカ・文学・精神史』（南雲堂、2008年）
21. （八木敏雄と共編）『エドガー・アラン・ポーの世紀』（研究社、2009年）
22. （笠井潔と共同監修）『3.11の未来』（作品社、2011年）
23. （坂上貴之、宮坂敬造、岡田光弘、坂本光と共編）『リスクの誘惑』（慶應義塾大学出版会、2011年）
24. （監修）伊藤優子編『現代作家ガイド6 カート・ヴォネガット』（彩流社、2012年）
25. （監修）日本SF作家クラブ編『国際SFシンポジウム全記録』（彩流社、2015年）
26. （高柳俊一と共同監修）『上智英文90年』上智大学文学部英文学科同窓会（彩流社、2018年）
27. (Co-edited with Nina Morgan and Alfred Hornung) *The Routledge Companion to Transnational American Studies*. Routledge, 2019
28. （高瀬祐子、舌津智之、日比野啓と共編）下河辺美知子監修『アメリカン・マインドの音声——文学・外傷・身体』（小鳥遊書房、2019年）
29. *Trans-Pacific Cultural Studies*, 4 Volumes. Sage, 2019
30. *Cyberpunk in a Transnational Context*. MDPI, 2019
31. （監修）『世界物語大事典』ローラ・ミラー編、越前敏弥監訳（三省堂、2019年）
32. （宇沢美子と共編）『よくわかるアメリカ文化史』（ミネルヴァ書房、2020年）

## 註釈

1. （刈田元司、伊藤詔子と共註）*The World of Edgar Allan Poe*. Yumi Press, 1986
2. *The Best Essays of Isaac Asimov*. Seibido, 1992
3. *Alternative Culture in Japan*. Seibido, 1998

## 共著

1. 『悪夢としてのP. K. ディック——人間、アンドロイド、機械』西村俊昭編（サンリオ、1986年）最終章「P・K・ディック批評史概説」（250-74頁）担当
2. （鷺津浩子・下河辺美知子と共著）『文学する若きアメリカ——ポウ、ホーソン、メルヴィル』（南雲堂、1989年）序章「アメリカン・ルネッサンスは再

- 生するか?)と第一部「エドガー・アラン・ポウ」(7-108頁)担当
3. 『ギリシア神話と英米文化』丹羽隆子他編(大修館書店、1991年)第2部第5章「アメリカ小説とギリシア神話」(271-94頁)担当
  4. 『ポスト・コンピュータの世界』(朝日新聞社、1995年)第5章「透明という名の思想」(206-46頁)担当
  5. 『アメリカ文学の〈自然〉を読む』スコット・スロヴィック他編(ミネルヴァ書房、1996年)第2部第9章「メインの昏い丘——ワイエス、オルソン、ホーソーン」(185-98頁)担当
  6. 『アメリカの嘆き——米文学史のなかのピューリタニズム』秋山健監修、宮脇俊文他編(松柏社、1999年)第7章「マーク・レイナー——ニューヨークの魔女たち——『ヤング・バードーフ・グッドマン・ブラウン』に見るアヴァン・ポップ・ピューリタニズム」(279-99頁)担当
  7. 『差異と同一化——ポストコロニアル文学論』山形和美編(研究社、1997年)「1001年ヴィンランドの旅——ポウ、ブロック、マーロウ」(177-94頁)担当
  8. 『アメリカ!——幻想と現実』八木敏雄編(研究社、2001年)第7章「使い切った男たち——ポウ、バルトック、テラヤマ」(161-85頁)担当
  9. 『アメリカ文学ミレニアム』国重純二編(南雲堂、2001年)第1部第1章「ピューリタンと海賊」(13-31頁)担当
  10. 『21世紀文学の創造第3巻——方法の冒険』筒井康隆編(岩波書店、2001年)「グローバル文学の世紀」(155-91頁)担当
  11. 『TAMALA2010 Complete Book』T.O.L編(平凡社、2002年)「メグロ・エンプレス降臨」(127-43頁)担当
  12. 『岩波講座文学12:モダンとポストモダン』小森陽一編(岩波書店、2003年)第3章「テクノロジーと文学——マーク・トウェインという名の分岐点」(75-91頁)担当
  13. 『アメリカ研究入門[第3版]』油井大三郎&五十嵐武士編(東京大学出版会、2003年)第3部第7章「文学」(90-100頁)担当
  14. 『レイ、ほくらと話そう——レイモンド・カーヴァー論集』平石貴樹&宮脇俊文編(南雲堂、2004年)第4部第9章「『ショート・カット』への最短距離」(173-93頁)担当

15. 『それでもわたしは戦争に反対します』日本ペンクラブ編（平凡社、2004年）第3部第8章「あのアメリカン・パイをもう一度」（285-95頁）担当
16. 『文化アイデンティティの行方——一橋大学言語社会研究科国際シンポジウムの記録』恒川邦夫他編（彩流社、2004年）第6章「アメリカ文学史の世界システム——アシュトン、タイラー、メルヴィル」（357-68頁）担当
17. 『アメリカナイゼーション——静かに進行するアメリカの文化支配』津田幸男・浜名恵美編（研究社、2004年）第1部第2章「ゴジラを待ちながら」（21-41頁）担当
18. 『アメリカ——文学史と・文化史の展望』亀井俊介監修・平石貴樹編（松柏社、2005年）「ブラック・ユーモアの倫理とリンチ国家の精神」（297-320頁）担当
19. 『視覚のアメリカン・ルネッサンス』武藤脩二&入子文子編（世界思想社、2006年）第2部第1章「超絶時代のフィルム・ノワール——エミリ・ディキンソンの形見函」（76-100頁）担当
20. 『シリーズ もっと知りたい名作の世界 3 ウォールデン』上岡克己&高橋勤編（ミネルヴァ書房、2006年）第11章「反知性主義者の群像——ソロー、ギャス、ムーア」（140-51頁）担当
21. 『慶應義塾大学創立150年ブックレット学問のすすめ 21 :Vol.5: ——文学のすすめ』（慶應義塾大学出版会、2008年）第1章「文学のアメリカ」（1-19頁）担当
22. 『英米小説の読み方・楽しみ方』林文代編（岩波書店、2009年）第4章「『アナベル・リー』の娘たち——エドガー・アラン・ポーの文学史」（61-81頁）と第9章「『白鯨』をどう聴くか——ハーマン・メルヴィルの音楽史」（157-73頁）担当
23. 『独立の時代——アメリカ古典文学は語る』入子文子 & 林以知郎編（世界思想社、2009年）第1章「建国の父子たち——ワシントン、アダムズ、モンロー」（1-27頁）担当
24. 『アメリカ文学研究のニュー・フロンティア』田中久男監修（南雲堂、2009年）第1部第3章「ミシシッピの惑星——フォークナー『野生の棕櫚』の深い時間」（66-84頁）担当
25. 『アメリカン・テロル——内なる敵と恐怖の連鎖』下河辺美知子編（彩流社、

- 2009年) 第4部第12章「語るのは誰か? — エコ・テロリズムの物語学」(280-99頁) 担当
26. 『幽霊学入門』河合祥一郎編(新書館、2010年)「アメリカン・ナラティブの幽霊学」(52-65頁) 担当
27. 『いまこそ私は原発に反対します』日本ペンクラブ編(平凡社、2012年)第4章のうち「バイオパンク・アジア — エネルギー文学の未来」(280-95頁) 担当
28. 『アメリカン・ルネサンス — 批評の新生』成田雅彦&西谷拓哉編(開拓社出版、2013年)第2部「アメリカン・ルネサンスの女性像再考」第1章「ポーにおけるミソジニーの伝統」(127-47頁) 担当
29. 『ステイプン・スピルバーグ論』南波克行編(フィルムアート社、2013年)論考6「スタンリー・キューブリックの遺産 — 『2001年宇宙の旅』が『A.I.』になる時」(168-87頁) 担当
30. 『災害の物語学』中良子編(世界思想社、2014年)第1章のうち「何かが空から降ってくる — ソロー、アンダーソン、村上春樹」(102-28頁) 担当
31. 『現代作家ガイド7 トマス・ピンチョン』麻生享志&木原善彦編(彩流社、2014年)「パラノイド文学史序説 — デイック、ピンチョン、ホフスタッター」(190-205頁) 担当
32. 『モンロー・ドクトリンの半球分割 — トランスナショナル時代の地政学』下河辺美知子編(彩流社、2016年)第4部第10章「モンローは誘惑する — アメリカ最後の一線」(275-99頁) 担当
33. 『帝国と文化 — シェイクスピアからアントニオ・ネグリまで』江藤秀一編(春風社、2016年)第2部第9章「宇宙アパッチ族 — 『第9地区』、あるいはヨハネスブルクのロー・テクたち」(257-77頁) 担当
34. 『架空の国に起きる不思議な戦争 — 戦場の傷とともに生きる兵士たち』津久井良充&市川薫編(開文社出版、2017年)巻頭論文「来るべき戦争 — ガーンズバック、ウェルズ、バラード」(1-23頁) 担当
35. 『教室の英文学』日本英文学会(関東支部)編(研究社、2017年)序論第2章「今、日本で、アメリカ文学にどう取り組むか? — 学問と批評のインターフェイス」(10-20頁) 担当
36. 『エコクリティシズムの波を超えて — 人新世の地球を生きる』塩田弘&松

- 永京子ほか編(音羽書房鶴見書店、2017年)終章「聖樹伝説——ヨセミテの杜、熊野の杜」(401-19頁)担当
37. 『富士見高原——環境と文化の50年』富士見高原愛好会編(彩流社、2017年)序文「愛好会五十年——ある避暑地の文化史」(1-4頁)担当
38. 高山宏 & 巽孝之『マニエリスム談義——驚異の大陸をめぐる超英米文学史』(彩流社、2018年)全編対談集
39. 『小さな夜をこえて——対話集成』今福龍太編著(水声社、2019年)第6章「1998『複数のアメリカ』像を掘り起こす」(131-48頁)対話
40. 『空とアメリカ文学』石原剛編(彩流社、2019年)第5章「宙空都市マンハッタン——ガーンズバック、テスラ、イニヤリトゥ」(131-55頁)担当
41. 『現代北海道文学論——来るべき「惑星思考」に向けて』岡和田晃編著(藤田印刷エクセレントブックス、2019年)第2部「平石貴樹——漂泊者が見た『日本の夢』と限界」(88-91頁)担当
42. 『高校生と考える 日本の論点 2020-2030——桐光学園大学訪問授業』桐光学園中学校・高等学校編(左右社、2020年)第3章「大統領のソフトパワー」(124-35頁)担当
43. 『極東証券株式会社寄附講座、慶應義塾大学文学部公開講座 2019——文学部のひらく世界』(慶應義塾大学文学部、2020年)「アメリカ文学とフロンティア」(37-60頁)担当
44. 『世界文学へのいざない——危機の時代に何を、どう読むか』小倉孝誠編(新曜社、2020年)第1章「アメリカ的自伝——マルコム X『マルコム X 自伝』」(33-41頁)、第4章「黒人奴隷体験記の遺産——トニ・モリスン『ビラヴィド』」(129-37頁)担当
45. 『マニフェスト・デスティニーの時空間——環大陸的視座から見るアメリカの変容』下河辺美知子編(小鳥遊書房、2020年)第10章「環大西洋的想像力——カント、コールリッジ、エマソン」(273-96頁)担当

## 英語圏共著

1. *Storming the Reality Studio: A Casebook of Cyberpunk and Postmodern*

- American Fiction*. Ed. Larry McCaffery (Duke University Press, 1991). Takayuki Tatsumi, “The Japanese Reflections of Mirrorshades” (pp. 366-73)
2. *In Memoriam to Postmodernism: Essays on the Avant-Pop*. Ed. Mark America et al. (San Diego State University Press, 1995). Takayuki Tatsumi, “Creative Masochism as an Approach to Comparative Avant-Pop” (pp. 57-69)
  3. *Transactions, Transgressions, Transformations: American Culture in American Western Europe and Japan*. Ed. Heide Fehrenbach and Uta Poiger (Berghahn Press, 2000). Takayuki Tatsumi, “Waiting for Godzilla: Chaotic Negotiations between Post-Orientalism and Hyper-Occidentalism” (pp. 224-36)
  4. *Cinema Anime*. Ed. Steven T. Brown (Palgrave Macmillan, 2006). Takayuki Tatsumi, “The Advent of Meguro Empress: Decoding the Avant-Pop Anime TAMALA 2010” (pp. 65-77)
  5. *John Steinbeck’s Global Dimensions*. Ed. Kyoko Arika et al (Scarecrow, 2008). Takayuki Tatsumi, “Which Way to Road Space?: Between the New Deal and the New Frontier” (pp. 95-103)
  6. *Survivance: Narratives of Native Presence*. Ed. Gerald Vizenor. (University of Nebraska Press, 2008). Takayuki Tatsumi, “Total Apocalypase, Total Survivance: Nuclear Literature and/or Literary Nucleus — Melville, Salinger, Vizenor” (pp. 191-208)
  7. *American Studies: An Anthology*. Ed. Janice Radway et al. (Wiley-Blackwell, 2009). Takayuki Tatsumi, “Waiting for Godzilla: Toward a Global Theme Park” (pp. 315-18).
  8. *My Postwar Life: New Writings from Japan and Okinawa*. Ed. Elizabeth McKenzie (Chicago Quarterly Review Books, 2012). Takayuki Tatsumi, “Tales from Fin de siècle Japantown: The Japanese Working Students of San Francisco” (pp. 245-49).
  9. *Translated POE*. Ed. Emron Esplin and Margarida Vale de Gato. (Lehigh University Press, 2014). Takayuki Tatsumi, “The Double Task of the Translator: Poe and His Japanese Disciples” (pp. 163-74).
  10. *The World According to Philip K. Dick*. Ed. Alexander Dunst and Stefan

- Schlensag. (Palgrave Macmillan, 2015). Takayuki Tatsumi, “Mr. Tagomi’s Planet: Philip K. Dick and Japanese Speculative Fiction” (pp. 137-54)
11. *Science Fiction Double Feature: The Science Fiction Film as Cult Text*. Ed. P.J. Telotte and Gerald Duchovnay. (Liverpool University Press, 2015). Takayuki Tatsumi, “Transnational Interactions: *District 9*, or Apaches in Johannesburg” (pp. 130-42)
  12. *The Cambridge History of Postmodern Literature*. Ed. Brian McHale and Len Platt. (Cambridge University Press, 2016). Takayuki Tatsumi, “Postmodern Japan and Global Visual Culture” (pp. 405-18)
  13. *Dis-Orienting Planets: Racial Representations of Asia in Science Fiction*. Ed. Isiah Lavender III. (University Press of Mississippi, 2017). Takayuki Tatsumi, “Race and Black Humor: From a Planetary Perspective” (pp. 26-41)
  14. *Lingua Cosmica: Science Fiction from around the World*. Ed. Dale Knickerbocker. (University of Illinois Press, 2018). Takayuki Tatsumi, “Sakyo Komatsu’s Planetary Imagination: Reading *Virus* and *The Day of Resurrection*” (pp. 95-106)
  15. *Anthologizing Poe: Editions, Translations, and (Trans) national Canons*. Ed. Emron Esplin and Margarida Vale de Gato. (Leigh University Press, 2020). Takayuki Tatsumi, “Editing and Anthologizing Poe in Japan” (pp. 351-67)
  16. *William Gibson and the Futures of Contemporary Culture*. Ed. Mitch R. Murray and Mathias Nilges. (University of Iowa Press, 2021). Takayuki Tatsumi, “*The Difference Engine* in a post-Enlightenment Context: Franklin, Emerson, Gibson & Sterling” (pp. 81-94)

### 主たる論文 (1984年以降の代表的なもの)

1. “The Masque and / or the Red Death: A Deconstructive Reading” 『アメリカ文学研究』第20号、1984年、1-17頁。
2. 「作品主権をめぐる暴力——The Narrative of Arthur Gordon Pym 小説」 『英文學研究』第61巻第2号、1984年、253-67頁。

3. "The Decomposition of Rock and Roll: Samuel Delany's *The Einstein Intersection*." *Extrapolation*, vol. 28, no. 3, 1987, pp. 269-80.
4. "Tom, Huck, Satan: The Logic of Innocence in *The Mysterious Stranger*." *Poetica*, no. 32, 1990, pp. 68-81.
5. 「モルグ街の黒人——字義と識字と文学と」『現代思想』第19巻第2号(特集: もう一つの〈世界文学〉)、1991年、184-200頁。
6. 「マリアの消えた荒野——メアリ・ホワイト・ローランドソンの捕囚体験記を読む」『ユリイカ』第24巻第3号(特集: アメリカ・インディアン——コロンブス500年の光と影)、1992年、195-213頁。
7. 「畜権神授説——沼正三『家畜人ヤプー』を読む」『現代思想』第20巻第4号(特集: 脱神話化する『古事記』)、1992年、88-101頁。
8. 「スチームパンク・アメリカ——ピムとアリスと『空洞地球』」『ユリイカ』第24巻第4号(特集: ルイス・キャロル)、1992年、184-97頁。
9. 「ニュー・アメリカニズム序説」『現代思想』第20巻第10号(特集: フーコーのアメリカ)、1992年、291-305頁。
10. 「クリントン以後の小説実験——ステイーヴ・エリクソン『アーク・dX』を読む」『三田文学』第33号、1993年、158-72頁。
11. 「共和制下のアンチ・ロマンス——タビサ・ギルマン・テニーの『女性版キホーティズム』を読む」『へるめす』第42号、1993年、34-45頁。
12. 「方舟状無意識——スリップストリーム序説」『へるめす』第46号、1993年、71-75頁。
13. "Towards the Theoretical Frontiers of 'Fiction': From Metafiction and Cyberpunk through Avant-Pop." (with Larry McCaffery), *SF Eye*, no. 12, 1993, pp. 43-50.
14. 「屋根裏の悪女——黒人女性奴隷 Harriet Ann Jacobs の自伝を読む」上・下『英語青年』第139巻第11号&12号、1994年、各8-10頁、14-16頁。
15. "Literacy, Literality, Literature: The Rise of Cultural Aristocracy in 'The Murders in the Rue Morgue.'" *Journal of American and Canadian Studies*, no. 12, 1995, pp. 1-23.
16. 「アメリカン・ナラティブの主体形成」『英語青年』第141巻第7号(特集: アメリカ小説史を読み直す)、1995年、2-4頁。
17. "Junk Art City; or, How Gibson Meets Thomasson in *Virtual Light*." *Para\*Doxa*,

- vol. 2, no. 1, 1996, pp. 61-72.
18. "Full Metal Apache: Shinya Tsukamoto's *Tetsuo Diptych*, or the Impact of American Narratives upon the Japanese Representation of Cyborgian Identity." *Japanese Journal of American Studies*, no. 7, 1996, pp. 23-45.
  19. 「上海-渋谷エクスプレス — 寺山修司『中国の不思議な役人』に見る都市精神」『シアターアーツ』第5号、1996年、86-93頁。
  20. "Haruki Murakami's *The Chronicle of The Wind-Up Bird*: Vol. 1-3." *Japanese Literature Today*, no. 21, 1996, pp. 65-69.
  21. 「巨大妄想 — ダーウィン紀元のジュラシック・ヤンキー」『ユリイカ』第28巻第8号（特集：マーク・トウェイン）、1996年、152-66頁。
  22. "Comparative Metafiction: Somewhere between Ideology and Rhetoric." *Critique: Studies in Contemporary Fiction*, vol. 39, no. 1, 1997, pp. 2-17.
  23. "An Episode in Reading Wordsworth, de Man, Chase: Book V of *The Prelude* Revisited." *Colloquia*, no. 20, 1999, pp. 105-21.
  24. 「天皇病の期限 — 坂手洋二「天皇と接吻」と野田秀樹『パンドラの鐘』」『ユリイカ』第33巻第7号（総特集：野田秀樹）、2001年、18-24頁。
  25. 「モロー博士にお願い」『漱石研究』第14号（特集：吾輩は猫である）、2001年、48-52頁。
  26. 「モビイ・ディックの世紀」『英語青年』第147巻第10号（特集：白鯨ウォッチング）、2002年、2-5頁。
  27. 「忍者がニンジェットになるとき」『ユリイカ』第33巻第14号（特集：山田風太郎）、2001年、102-03頁。
  28. 「以心電心 — 『1904年の〈ロンドン・タイムズ〉より抜粋』を読む」『マーク・トウェイン』第1号（特集：マーク・トウェインとテクノロジー）、2002年、24-31頁。
  29. 「モノクロームの祈り — ドン・デリーロ『アンダーワールド』を読む」『新潮』第99巻第9号、2002年、250-53頁。
  30. 「アメリカ王朝史序説 — アダムズ家の場合」『現代思想』第30巻第10号（特集：アメリカを知れ）、2002年、134-42頁。
  31. 「アメリカ文学史の教え方」『英語青年』第148巻第8号（特集：英文学の教え方I）、2002年、4-5頁。

32. “Editorial Afterword. A Soft Time Machine: From Translation to Transfiguration.” *Science Fiction Studies*, vol. 29, no. 3 (The Special “Japanese Science Fiction” Issue, co-edited by Takayuki Tatsumi, Christopher Bolton & Istvan Csicsery-Ronay, Jr), 2002, pp. 475-84.
33. 「幻想音楽」『幻想文学』第 66 号、2003 年、60-63 頁。
34. 「若きギャツビーの文学史」『The Fitzgerald Club of Japan』第 18 号、2003 年、4-9 頁。www.let.ryukoku.ac.jp/~seiwa/NewsLetter18/newsletter18.htm.
35. 「アメリカン・ファンタジーの起源」『小説 TRIPPER』第 105 巻第 27 号、2003 年、36-39 頁。
36. 「ラグタイムを弾く詩人——ポストコロニアリズム以後の批評」『T.S. Eliot Review』第 14 号、2003 年、59-70 頁。
37. “Hino Keizo’s *Tenchi*.” *Japanese Literature Today*, no. 25, 2000, pp. 72-75.
38. 「スキズマトリックスの哲学——レム、スターリング、ゴーシュ」『現代思想』第 32 巻第 1 号（特集：マトリックスの思想）、2004 年、180-88 頁。
39. “Literary History on the Road: Transatlantic Crossings and Transpacific Crossovers.” *PMLA*, vol. 119, no.1, 2004, pp. 92-102.
40. 「最後のモンゴロイド」『英語青年』第 149 巻第 12 号（特集：インディアンとアメリカ文学）、2004 年、750-52 頁。
41. 「核の文学、文学の核——メルヴィル、サリンジャー、ヴィゼナー」『アジア太平洋研究 2005』第 28 号、2005 年、51-65 頁。
42. 「ブック・クラブをめぐる愛と死」『三田文學』第 82 号、2005 年、176-86 頁。
43. 「ゲリラはメッセージだ——寺山修司のアメリカ」『すばる』第 19 巻第 11 号、2005 年、175-87 頁。
44. 「キメラの楽典」『群像』第 60 巻第 12 号、2005 年、252-69 頁。
45. 「伝統と共感覚の才能——古川論ノートパッド」『ユリイカ』第 38 巻第 8 号（特集：古川日出男——雑種の文学）、2006 年、176-86 頁。
46. 「インジャン・ジョーは死なない——ポー、トウエイン、カポーティ」『英語青年』第 152 巻第 9 号（特集：トルーマン・カポーティ）、2006 年、12-14 頁。
47. “Mori Minoru’s Day of Resurrection.” *Mechademia*: “The Worlds of Anime and Manga,” no. 1, 2006, pp. 87-90.
48. 「アヴァン・ポップ神話体系」『現代思想』第 35 巻第 4 号（特集：笹野頼子）、

- 2007年、136-47頁。
49. 「むずかしい文学、むずかしい文化」『ヒューマンコミュニケーション研究』第35号、2007年、5-14頁。
  50. 「文学にとってSFとは何か」『文学』第8巻第4号(特集:SF)、2007年、2-9頁。
  51. 「誰がヴォネガットを殺したか」『SFマガジン』第617号(カート・ヴォネガット追悼特集)、2007年、38-45頁。
  52. 「世界情勢セミナー：アメリカ文学と大統領」『世界経済時報』第167号、2008年3月20日)、1-21頁。
  53. 「〈小泉信三記念講座〉シャーロック・ホームズの街で——小泉信三、南方熊楠、巽孝之丞」『三田文学』第94号、2008年、62-94頁。
  54. 「ある思索小説家の旅——アーサー・C・クラークの内宇宙」『SFマガジン』第49巻第7号(特集:アーサー・C・クラークII)、2008年、50-55頁。
  55. 「ウィリアム・ギブスンの現在史」『SFマガジン』第50巻第1号(特集:ウィリアム・ギブスン)、2009年、15-21頁。
  56. 「アレゴリーはなぜ甦る——水村美苗とポール・ド・マン」『ユリイカ』第42巻第2号(特集:日本語は亡びるのか?)、2009年、70-75頁。
  57. 「この不思議な群島で——惑星思考の批評理論」『すばる』第31巻第4号(特集:群島の時代)、2009年、169-79頁。
  58. 「ポーの謎、デュパンの謎」『ミステリマガジン』第54巻第8号(特集:幻想と怪奇——ポー生誕200周年)、2009年、48-53頁。
  59. 「晩年の人類——ミッシングリンク JACKO」『現代思想』第37巻第11号(特集:マイケル・ジャクソン)、2009年、178-83頁。
  60. "Ninja, Hidden Christians, and the Two Ferreiras: On Endo Shusaku and Yamada Futaro." Translated by Seth Jacobowitz, *Mechademia*, no.4, 2009, pp. 213-23.
  61. 「真珠湾攻撃の内宇宙——バラードまたはSF史の変容」『SFマガジン』第50巻第12号(J・G・バラード追悼特集)、2009年、78-84頁。
  62. "Trans-ethnic, Post-Hemispheric: From Faulkner to Yamashita." *Asian American Literature Association Journal*, no.15, 2009, pp. 55-67.
  63. 「『サージェント・ペパーズ』神話体系——ビートルズSFのために」『ストレンジ・デイズ』第120巻、2009年、15-19頁。
  64. 「エドガー・アラン・ポーの二一世紀——批評と創作の再循環」『文学』第(XVIII)

- 10 卷第 6 号 (特集：十九世紀の文学)、2009 年、209-22 頁。
65. 「現代の神話——星新一と日米 SF の内宇宙創世記」『星新一展資料編』せたがや文化財団 世田谷文学館、2010 年、39-41 頁。
66. “The Myth of Simultaneous Order: Twain, Faulkner and Eliot.” *Mark Twain Studies*, vol. 3, 2020, pp. 64-77.
67. 「2010 年度国際幻想芸術会議 基調講演：惑星思考のブラックユーモア」『SF マガジン』第 51 卷第 12 号、2010 年、68-84 頁。
68. 「三田文学者の外国——創刊 100 周年の余白に」『三田文学』第 104 号、2011 年、217-21 頁。
69. “Hirano Keiichiro’s Dawn.” *Japanese Literature Today*, no. 27, 2010, pp. 100-05.
70. “Race and Black Humor: From a Planetary Perspective.” *Journal of the Fantastic in the Arts*, vol. 21, no. 3, 2011, pp. 439-54.
71. 「戦慄の少女——クイーンが先かロック漫画が先か？」『MUSIC LIFE plus』第 2 号、2011 年、*MUSIC LIFE plus*, [www.shinko-music.co.jp/musiclifepius/vol2.html](http://www.shinko-music.co.jp/musiclifepius/vol2.html).
72. 「『地には平和を』の半世紀——または小松文学の闘争」『小松左京マガジン』第 42 号、2011 年、42-53 頁。
73. 「談論爆発——ビッグ 3 の内宇宙」『国文学 解釈と鑑賞』第 76 卷第 9 号 (特集：筒井康隆)、2011 年、26-32 頁。
74. “Annotating the Papers, Recreating the Palimpsests: A Response to Professor Anita Patterson’s Lecture ‘Global America Revisited: Ezra Pound, Yone Noguchi, and Modernist Japonisme.’” *Nanzan Review of American Studies*, no. 33, 2011, pp. 81-89.
75. “From Surrealism to Postmodernism: An Introduction to Chiaki Kawamata’s *Death Sentences*.” *The New York Review of Science Fiction*, vol. 22, no. 6, 2012, pp. 1, 4-7.
76. 「作家生命論序説——漱石『文学論』の百年計画」『文学』第 13 卷第 3 号 (特集：漱石『文学論』をひらく)、2012 年、150-57 頁。
77. 「自伝というパラドックス」『マーク・トウェイン 研究と批評』第 11 号 (特集：アメリカ文学と自伝)、2012 年、9-13 頁。
78. “Another Long and Winding Road: Translating Japanese Speculative Fiction.”

*University of Minnesota Press Blog*, 13 June 2012, [uminnpressblog.com/2012/06/13/another-long-and-winding-road-translating-japanese-speculative-fiction/](http://uminnpressblog.com/2012/06/13/another-long-and-winding-road-translating-japanese-speculative-fiction/).

79. 「感電するほどの墓碑銘を——レイ・ブラッドベリのために」『SF マガジン』第 53 巻第 10 号（レイ・ブラッドベリ追悼特集）、2012 年、238-43 頁。
80. 「屍者たちは語るができるか？——伊藤計劃×円城塔『屍者の帝国』を読む」『すばる』第 34 巻第 11 号、2012 年、224-27 頁。
81. 「電脳以後の南部——ポー、フォークナー、ダニエレブスキー」『フォークナー』第 15 号（特集：フォークナーと現代文学）、2013 年、17-34 頁。
82. 「盗まれた廃墟——アウエルバッハ、ド・マン、パリッシュ」『思想』第 1071 号（特集：ポール・ド・マン）、2013 年、57-74 頁。
83. “Planet of the Frogs: Thoreau, Anderson and Murakami.” *Narrative*, vol. 21, no. 3, 2013, pp. 346-56.
84. 「選民国家の選挙文学史序説——マザー、ホーソーン、バーコヴィッチ」『アメリカ研究』第 48 号（特集：選挙とアメリカ社会）、2014 年、1-19 頁。
85. 「ジョージ五世下のストレータム——『緑柱石の宝冠』から見るロンドン金融界」『ユリイカ』第 46 巻第 9 号（総特集：シャーロック・ホームズ——コナン・ドイルから『SHERLOCK』へ）、2014 年、236-43 頁。
86. 「ポーと乱歩の二十一世紀」『ハヤカワ ミステリマガジン』第 59 巻第 8 号（特集：幻想と怪奇——乱歩生誕 120 周年）、2014 年、78-85 頁。
87. 「サイバーパンク 30 周年——ヴァンクーヴァー、オースティン、ロンドン」『SF マガジン』第 55 巻第 11 号（特集：30 年目のサイバーパンク）、2014 年、64-73 頁。
88. “The Barren Land of Figures: Auerbach, De Man and Mizumura.” *Colloquia*, no. 35 (35 th Anniversary Issue), 2014, pp. 199-205.
89. “With One ‘Flop’ of His Tail: or, How Abe Loves Ahab” 『Sky Hawk: The Journal of the Melville Society of Japan』第 2 号、2014 年、15-26 頁。
90. 「ニクソン政権下の脱構築——ポー、ド・マン、ホフスタッター」『現代思想』第 43 巻第 3 号（特集：反知性主義と向き合う）、2015 年、134-53 頁。
91. 「カッサンドラ・コンプレックス——予言の文学と環境批評」『エコクリティシズム・レビュー』第 8 号、2015 年、1-14 頁。
92. 「アウーダのために——『八十日間世界一周』の文学思想史序説」

- 『EXCELSIOR!』第10号(特集:『八十日間世界一周』)、2015年、20-26頁。
93. 「最も嫌われ、最も愛された男——ロバート・アルトマン論」『マーク・トウェイン研究と批評』第15号、2016年、78-80頁。
94. “Towards a Transpacific Gender-Bending Poetics: Between the Tiptree Award and the Sense of Gender Award.” *The WisCon Chronicles*, vol. 10, 2016, pp. 116-21.
95. 「パラノイアの帝国——テイラー、ゴールドウォーター、トランプ」『現代思想』第45巻第1号、2017年(特集:トランプ以後の世界)、88-95頁。
96. 「ディストピアSF事始」『SFマガジン』第58巻第1号(特集:ディストピアSF)、2017年、26-31頁。
97. “U.S.-Japan Literary Interactions in the Transpacific Cultural History.” *Oxford Research Encyclopedia of Literature*, Oxford UP, 2017. Doi: 10.1093/acrefore/9780190201098.013.201.
98. “Transpacific Cyberpunk: Transgeneric Interactions between Prose, Cinema, and Manga.” *Arts*, vol. 7, no. 1, 2018, MDPI, [www.mdpi.com/2076-0752/7/1/9/htm](http://www.mdpi.com/2076-0752/7/1/9/htm).
99. “Allegories of Lying: Arendt, de Man and McCarthy.” *The Geibun-Kenkyu (Journal of Arts and Letters)*, vol. 113, no. 2, 2018, pp. 95-107.
100. 「環大陸的アメリカ文学史のために——コメンタリーに代えて」『アメリカ文学東京支部会報』第79号、2018年、39-47頁。
101. 「パラノイド真理省——『48億の妄想』」『文藝別冊 総特集:筒井康隆』河出書房新社、2018年、57-64頁。
102. 「横浜正金銀行の文学史——漱石、荷風、米次郎」『三田文学』第135号、2018年、136-52頁。
103. 「ケイコ・イトウ『わが上海:1942-1946』を読む——横浜正金銀行と日系社会」『AALA Journal』第24号、2018年、26-38頁。
104. “In Pym’s Footsteps: Poe, Ooka, and Ballard.” *The Edgar Allan Poe Review*, vol. 20, no. 1, 2019, pp. 110-25.
105. “Thinking After the Hemispheric: The Planetary Expanse of Transnational American Writing.” *The Routledge Companion to Transnational American Studies*, Routledge, 2019, pp. 357-69.
106. “Dr. Franklin’s Children: Kant, Shelley and Priest.” *Colloquia*, vol. 40, 2019, pp. 97-107.

107. 「行く手にはピムの幻影——ポー、大岡昇平、J・G・バラード」『ポー研究』第11号、2019年、3-22頁。
108. “The Advent of Asian Speculative Fiction: In Response to Wai Chee Dimock’s Reading of *The Three-Body Problem*.” *ALA Journal*, no. 25 (30th Anniversary Issue), 2019, pp. 16-26.
109. 「盗まれたウイルス——メルヴィル、カミュ、小松左京」、『三田文學』、142号、2020年、68-69頁。
110. 「パクス・モンゴリカの人新世——ディック、ウォン、ロビンスンに見る歴史改変の想像力」、『思想』第1147号、2019年、165-76頁
111. “Transnational American Studies: or, Trans-Atlantic, Trans-Pacific, Trans-Chronological.” *Journal of Keio American Studies*, Vol. 0, 2020, pp. 7-16.

#### 解説（1995年以降の発表で専門領域に関係したもの）

1. 由良君美『メタフィクションと脱構築』（文遊社、1995年）353-57頁。
2. マーク・ジェイコブスン『ゴジロ』（角川書店、1995年）430-36頁。
3. リチャード・コールドー『デッドガールズ』（トレヴィル、1995年）351-73頁。
4. 小松左京コレクション第5巻『地球を考える』（ジャストシステム、1996年）511-20頁。
5. 久間十義『ヤポニカ・タペストリー』（河出書房新社、1996年）239-46頁。
6. マーク・トウェイン『細菌ハックの大冒険』（彩流社、1996年）239-48頁。
7. リチャード・コールドー『デッドボーイズ』（トレヴィル、1997年）261-78頁。
8. マーク・デリー『エスケープ・ヴェロシティー』（角川書店、1997年）383-89頁。
9. イェンス・ヨハンネス・ヨルゲンセン『アシジの聖フランシスコ』（平凡社、1997年）365-72頁。
10. ウィリアム・ギブスン『あいどる』（角川書店、1997年）291-97頁。
11. 小松左京『見知らぬ明日』（ハルキ文庫、1998年）287-93頁。
12. ポール・オースター『ルル・オン・ザ・ブリッジ』（日本ヘラルド映画パンフレット、1998年）44-47頁。
13. 辻仁成『アンチノイズ』（新潮文庫、1999年）217-31頁。
14. 蕪沢靖『NIRA WORKS——蕪沢靖立体作品集』（ホビージャパン、1998年）

220-21 頁。

15. ウィリアム・ギブスン『ヴァーチャル・ライト』（角川文庫、1999年）421-29頁。
16. 笠井潔『機械じかけの夢——私的SF作家論』（筑摩文庫、1999年）427-37頁。
17. 向山貴彦&宮山香里『童話物語』（幻冬舎、1999年）541-45頁。
18. 小松左京『日本アパッチ族』（光文社文庫、1999年）383-92頁。
19. 沼正三『家畜人ヤプー』（幻冬舎文庫、1999年）370-402頁。
20. 田中光二『わが赴くは蒼き大地』（ハルキ文庫、1999年）283-92頁。
21. 小林恭二『ゼウスガーデン衰亡史』（ハルキ文庫、1999年）505-09頁。
22. ウィリアム・ギブスン『あいどる』（角川文庫、2000年）379-86頁。
23. ウィリアム・ギブスン『フューチャーマチック』（角川書店、2000年）308-15頁。
24. 村上龍『村上龍自選小説集』第8巻（増殖し続ける細部）（集英社、2000年）796-804頁。
25. ジェフリー・ユージェニデス『ヘビトンボの季節に自殺した五人姉妹』（ハヤカワ文庫 epi, 2001年）319-29頁。
26. 向山貴彦&宮山香里『童話物語』（幻冬舎文庫、2001年）535-49頁。
27. 辻仁成『ワイルドフラワー』（集英社文庫、2001年）406-14頁。
28. 高野史緒『ムジカ・マキーナ』（ハヤカワ文庫 JA、2002年）469-78頁。
29. 白鳥賢司『模型夜想曲』（アーティストハウス、2002年）241-47頁。
30. マーク・ダニエレブスキー『紙葉の家』（ソニーマガジンズ、2002年）別冊。
31. ライマン・フランク・ボーム『オズのふしぎな魔法使い』（松柏社、2003年）229-55頁。
32. キム・スタンリー・ロビンソン『南極大陸』（講談社、2003年）414-26頁。
33. ウィリアム・ギブスン『パターン・レコグニション』（角川書店、2004年）341-49頁。
34. ポール・マコーリイ『フェアリー・ランド』（早川書房、2006年）680-87頁。
35. 末延芳晴『荷風のあめりか』（平凡社ライブラリー、2005年）469-79頁。
36. ダン・ブラウン『デセプション・ポイント』上・下（角川書店、2006年）下巻 405-13頁。
37. アイリーン・ガン『遺す言葉、その他の短篇』（早川書房、2006年）325-34頁（小谷真理と共著）。
38. 奥泉光『新・地底旅行』（朝日新聞社、2007年）555-61頁。

39. アーサー・C・クラーク『幼年期の終わり』（光文社、2007年）424-39頁。
40. ジークムント・フロイト『フロイト全集』第8巻月報（岩波書店、2008年）1-5頁。
41. ジョン・スタインベック『エデンの東』全4巻（早川書房、2008年）第1巻275-86頁、第2巻333-44頁、第3巻309-19頁、第4巻425-41頁。
42. スチュアート・カミンスキー編『ポーに捧げる20の物語』（早川書房、2009年）419-29頁。
43. トマス・ピンチョン『競売ナンバー49の叫び』（筑摩書房、2010年4月）364-67頁。
44. 笠井潔『群衆の悪魔』上下（東京創元社、2010年）下巻325-33頁。
45. ゴラン・ジフコヴィッチ『ゴラン・ジフコヴィッチの不思議な物語』（黒田藩プレス、2010年）130-42頁。
46. サミュエル・ディレイニー『ダールグレン』I&II巻（国書刊行会、2011年）II巻511-29頁。
47. セス・グレアム＝スミス『ヴァンパイアハンター・リンカーン』（新書館、2011年）518-30頁。
48. Chiaki Kawamata, *Death Sentences*, translated by Kazuko Behrens and Thomas Lamarre, University of Minnesota Press, 2012, pp. ix-xxiii.
49. 円城塔『後藤さんのこと』（早川書房、2012年）251-65頁。
50. 篠田節子『家鳴り』（集英社、2012年）319-25頁。
51. YOUCHAN『TURQUOISE』（アトリエ・サード、2014年）60-61頁。
52. 荒巻義雄『荒巻義雄メタ SF全集3 白き日旅立てば不死』（彩流社、2014年）ii-vii頁。
53. 森晶磨『黒猫の薔薇あるいは時間旅行』（早川書房、2015年）289-99頁。
54. Yoshio Aramaki, *The Sacred Era*, translated by Kazuko Behrens and Baryon Posadas, University of Minnesota Press, 2015, pp. ix-xvi.
55. カート・ヴォネガット『国のない男』（中央公論新社、2017年）189-98頁。
56. 宮本隆司『九龍城砦』（彩流社、2017年）82-85頁。
57. アン・パチエット『ベル・カント』（早川書房、2019年）519-26頁。

学術発表 (1986年以降の講演とシンポジウムに限る。司会のみ企画は割愛)

1. Panel: "Edgar Allan Poe" (Moderator: David Ketterer; Panelists: Jules Zanger, Joan Mead, Takayuki Tatsumi), The 7th Annual Conference on the Fantastic in the Arts, 15 March 1986 (Houston, TX, USA)
2. Panel: "Literature" (Moderator: Iwao Iwamoto; Panelists: William Gass, Kenzaburo Ohashi, Norma Field, Takayuki Tatsumi), The International Conference on Japan and the United States: Perceptions, Misperceptions, Counterperceptions between Two Cultures, 14 May 1989, the International House of Japan (Tokyo)
3. シンポジウム:「SF—その歴史と詩学と現状」日本英文学会第59回大会(司会:八木敏雄、講師:折島正司、今岡清、巽孝之)1987年5月24日、於・中央大学多摩校舎
4. シンポジウム:「アメリカ文学におけるグロテスク」日本英文学会第61回大会(司会:島田太郎、講師:佐藤良明、林文代、巽孝之)1989年5月21日、於・青山学院大学
5. シンポジウム:「トマス・ピンチオン『ヴァインランド』を読む」日本英文学会第63回大会(司会:志村正雄、講師:佐藤良明、宮本陽一郎、巽孝之)1991年5月19日、於・明治大学泉校舎
6. Panel: "Culture of Consumption in American Society: Literature Section" (With Michael T. Gimore), Sapporo Cool Seminar, 30 July -2 August 1991, Hokkaido University (Sapporo)
7. Panel: "Movies in American Social History" (Panelists: Robert Sklar, Yoshiaki Sato, Mikiro Kato, Takayuki Tatsumi; Moderator: Hiroko Sato), The 26th Annual Conference of JAAS (The Japanese Association for American Studies), 5 April 1992, Hitotsubashi University (Tokyo)
8. 講演:「エドガー・アラン・ポウを読む」岩波市民セミナー、1992年10月6・13・20・27日)、於・岩波セミナー・ルーム
9. 講演:上智大学英文学会第15回年次大会特別講演「読むことのサイエンス・フィクション」1992年10月24日、於・上智大学
10. シンポジウム:「アメリカン・ルネッサンス再考」日本アメリカ文学会第31

- 回大会（司会：稲田勝彦、講師：伊藤詔子、牧野有通、巽孝之）1992年10月18日、於・成蹊大学
11. 講演：「セイラムの魔女狩り ― その光と影」セイラムの魔女狩り 300周年記念講演会実行委員会、1993年1月31日、於・浜離宮朝日ホール
  12. Lecture: “Creative Masochism” (Moderator: Brett DeBary), 9 September 1993, Cornell University (Ithaca, NY, USA)
  13. 講演：「ウィリアム・ギブスン最新作『ヴァーチャル・ライト』を読む」成蹊大学公開講座「ヴァーチャル・リアリティ」1993年12月4日、於・成蹊大学
  14. シンポジウム：「Antebellum Literature ― 文学と社会」日本アメリカ文学会第32回大会（司会：星野勝利、講師：大井浩二、竹村和子、高野一良、巽孝之）1993年10月10日、於・弘前大学
  15. シンポジウム：「よみがえる女性作家たち」日本英文学会第66回大会（司会：佐藤宏子、講師：馬場美奈子、篠目清美、巽孝之）1994年5月21日、於・熊本大学黒髪校舎
  16. 講演：「ベンジャミン・フランクリンの銀河系」愛知県立大学学術講演会（司会：鶴殿えりか）1994年10月11日、於・愛知県立大学
  17. 講演：「初期アメリカ文学」青山学院大学文学部英米文学会講演、1994年10月14日、於・青山学院大学
  18. 講演：「ニュー・アメリカニズム」明治大学理工学部総合講座、1994年10月21日、28日、明治大学生田キャンパス
  19. 講演：「モルグ街の黒人 ― Murder Narrative の視点から」津田塾大学言語文化研究会エドガー・アラン・ポウ研究会、1994年11月5日、於・津田塾大学
  20. 講演：「日米関係の新局面」慶應義塾大学通信教育学部総合講座、1994年11月25日、12月9日、於・慶應義塾大学三田キャンパス
  21. 講演：「ニューヨークの世紀末 ― メルヴィル、アダムズ、デュシャン」第18回日本ワイルド協会秋季大会特別講演、1994年12月3日、於・慶應義塾大学三田キャンパス
  22. 講演：「ニューヨーク・デカダンス」（司会：尾崎俊介）愛知教育大学学術講演会、1995年1月20日&1994年12月3日、於・愛知教育大学

23. シンポジウム:「アメリカ小説史を読み直す」日本アメリカ文学会 6 月例会(司会兼講師:巽孝之、講師:八木敏雄、越川芳明、小谷真理) 1995 年 6 月 24 日、於・慶應義塾大学三田キャンパス
24. 講演:「アメリカ文学の世紀末」横浜慶友会講演会、1995 年 6 月 25 日、於・神奈川県立紅葉ヶ丘青少年会館
25. シンポジウム:「ダーウィニズムと英米文学」第 68 回日本英文学会第 68 回大会(司会:丹治愛、講師:度会好一、谷内田浩正、巽孝之) 1996 年 5 月 25 日、於・立正大学大崎校舎
26. シンポジウム:「セクシュアリティ」アメリカ学会第 30 回年次大会(司会:横山良、講師:杉山直子、金原恭子、巽孝之) 1996 年 6 月 16 日、於・東京大学本郷キャンパス
27. Panel: “The American Cultural Impact on Germany, France, Italy and Japan, 1945-1995: An International Comparison” (Moderator: Volker Berghahn; Panelists: William Kelly, Franco Minganti, Takayuki Tatsumi), 13 April 1996, Brown University (Providence, RI USA)
28. Panel: “Literary History” (With Emory Elliott; Moderator: Takashi Sasaki), Kyoto American Studies Summer Seminar 1996 (Literature Section), 2 August 1996, Ritsumeikan University (Kyoto)
29. Panel: “Decolonization of Desire” (Moderator: Vicki Kirby; Panelists: John Mowitt, Morny Joy, Takayuki Tatsumi), “Endings and Transformations: Cultural Studies and the Millennium,” 22 August 1997, Trent University (Peterborough, Toronto, Canada)
30. 講義:「アメリカ文学史再考」都民カレッジ 1998 年度第一期、1998 年 4 月 14 日、28 日、5 月 19 日、26 日、6 月 9、23 日、於・都民カレッジ丸ノ内キャンパス
31. シンポジウム:「アメリカン・ルネッサンスと視覚芸術」日本英文学会第 70 回全国大会シンポジウム第 6 部門(司会:入子文子、講師:志村正雄、巽孝之、高山宏)、1998 年 5 月 24 日、於・京都大学法経会館第 4 教室
32. 講演:「アメリカの映像文化と新しいアメリカニズム」横浜市立大学リカレント講座「超大国アメリカの光と陰——アメリカのナショナルリズム」1998 年 6 月 18 日、於・横浜市立大学アーバンカレッジ

33. シンポジウム:「ロシアの真空」東京外国語大学中野健三基金(司会:亀山郁夫、講師:沼野充義、望月哲男、巽孝之) 1998年11月6日、於・東京外国語大学4号館6階大会議室
34. シンポジウム:「小説の現在」日本近代文学会11月例会(司会:柘植光彦、講師:近藤裕子、巽孝之、与那覇恵子ほか) 1998年11月21日、於・東海大学代々木校舎2号館
35. 講演:「キャプティヴィティ・ナラティブ」青山学院大学文学部英文学科連続公開講演(司会:根本治) 1998年11月27日、於・青山学院大学青山校舎1123教室
36. シンポジウム:「文化はいかに国境を越えるか——人種・民族・国籍をめぐる」1998立教大学アメリカ研究所主催公開(司会:小林憲二、講師:本橋哲也、巽孝之、金石範)、1998年12月19日、於・立教大学池袋校舎太刀川記念館3F多目的ホール
37. Presentation: “Waiting for Godzilla: Chaotic Negotiations between Post-Orientalism and Hyper-Occidentalism” (Moderator: Livia Monnet), The Japanese Pop Culture Conference: Visions, Revisions, Incorporations, 27 March 1998, B-2245, Pavillon 3200, Jean-Brillant, University of Montreal at Cotés-des-Neiges (Montreal, Quebec, Canada)
38. Panel: “The Cinematic / Photographic Body, Masculinity and Transnational (Pop) Postmodernism” (Moderator: Livia Monnet), Japanese Pop Culture Conference: Visions, Revisions, Incorporations, 27 March 1998, University of Montreal at Cotés-des-Neiges (Montreal, Quebec, Canada)
39. Public Lecture: “Full Metal Apache: Shinya Tsukamoto’s *Tetsuo Diptych* and the Impact of American Narratives on Japanese Representations of Cyborgian Identity” (Moderator: Livia Monnet), 31 May 1998, B-3280, Pavillon 3200, The University of Montreal at Cotés-des-Neiges (Montreal, Quebec, Canada)
40. Public Lecture: “Full Metal Apache: Shinya Tsukamoto’s *Tetsuo Diptych* and the Impact of American Narratives on Japanese Representations of Cyborgian Identity” (Moderator: Thomas Lamarre), 31 May 1998, Redpath Auditorium Museum, McGill University (Montreal, Quebec, Canada)
41. 講演:「ラプンツェルの裏窓」1999年度・形の文化会大会、1999年4月25日、

於・慶應義塾大学三田キャンパス北新館4階会議室

42. パネル:「アメリカン・ルネッサンスにおける黒人の表象——『闇の力』再考」日本ナサニエル・ホーソーン協会第18回全国大会(司会:下河辺美知子、講師:齋藤忠利、巽孝之、白川恵子) 1999年5月29日、於・松山大学本館6階大ホール
43. ワークショップ:「テクスチュアル・ハラスメント裁判についての報告」日本女性学会創立20周年記念春季大会(司会:小林富久子、講師:小谷真理、中江川靖子、本田真己、巽孝之) 1999年6月27日、於・城西国際大学求名校舎
44. ワークショップ:「Jonathan Culler, *Literary Theory* を読む」サウンディングズ英語英米文学会批評理論読書会、1999年7月10日、於・上智大学10号館911号室
45. Panel: “Poe’s Literary Impact Abroad 2” (Moderator: Lois Davis Vines), The International Edgar Allan Poe Conference (Commemorating the Sesquicentennial of Poe’s Death), 10 October 1999, Jefferson Hotel (Richmond, VA, USA)
46. シンポジウム:「共和制とアメリカ文学」日本アメリカ文学会東京支部12月例会(司会兼講師:巽孝之、講師:大井浩二、高尾直知、田辺千景) 1999年12月11日、於・慶應義塾大学三田キャンパス研究室棟AB会議室
47. シンポジウム:「現代文学 VS 現代宗教」現代文学会1999年度大会(司会:柘植光彦、講師:三枝和子、巽孝之)、1999年12月18日、於・専修大学神田校舎202教室
48. ワークショップ:「Harriet Hawkins, *Strange Attractors* を読む」サウンディングズ英語英米文学会、2000年2月5日、於・日本大学理工学部1号館2階名誉教授室
49. Panel: “The Visions and Revisions of Literary History in the post-Globalist Age” (Moderator: Takayuki Tatsumi; Panelists: Marleen Barr, Mari Kotani), Kyoto American Studies Summer Seminar 2000 (Literature Section), 28 July 2000, Ritsumeikan University (Kyoto)
50. ワークショップ:「Cathy Davidson, ed., *Reading in America* を読む」サウンディングズ英語英米文学会、2000年9月9日、於・上智大学図書館L-524
51. 講演:「アメリカ文学史の20世紀」愛知学院大学人間文化研究所(司会:松

- 崎博) 2000年10月27日、於・愛知学院大学3号館2階3228教室
52. 講演:「日本SF論争史」慶友会山口支部、2000年10月28-29日、於・山口セミナーパーク
  53. シンポジウム:「文学?の20世紀」慶應義塾大学藝文学会(司会兼講師:巽孝之、講師:河内恵子、佐藤亜紀、荻野安奈)2000年12月8日、於・慶應義塾大学三田キャンパス北新館ホール
  54. Keynote Address: “2001 or a Cyberspace Odyssey: Towards the Ideographic Imagination” (Moderator: Yan Wu), Hong Kong 2001 Conference: Technology, Identity, & Futurity, East and West, in the Emerging Global Village, 6 January 2001, The Chinese University of Hong Kong (Hong Kong)
  55. ワークショップ:「James Machor, ed., *Readers in History* を読む」サウンディングズ英語英米文学会、2001年3月31日、於・上智大学図書館L-524
  56. ワークショップ:「Marilyn Ivy, *Discourses of the Vanishing* を読む」サウンディングズ英語英米文学会、2001年9月14日、於・上智大学図書館L-524
  57. パネル:「マーク・トウェインとテクノロジー」日本マーク・トウェイン協会第5回全国大会(司会:後藤和彦、講師:折島正司、巽孝之、富田直久)2001年10月13日、於・盛岡市勤労福祉会館5階大ホール
  58. シンポジウム:「『白鯨』ウォッチング——出版150周年」日本アメリカ文学会第40回全国大会(司会:星野勝利、講師:森田勝昭、福岡和子、佐藤亜紀、巽孝之)2001年10月15日、於・岩手県立大学
  59. 講演:「リンカーンの世紀」日本英文学会中国四国支部第54回全国大会(司会・田中久男)2001年10月27日、於・徳島大学5号館C-204講義室
  60. 研究発表:「リンカーンの劇場——Tom Tayler, “Our American Cousin”を中心に」日本アメリカ文学会東京支部月例会演劇分科会(司会:常山菜穂子)、2002年1月26日、於・慶應義塾大学三田キャンパス大学院棟303教室
  61. Panel: “Cultural Hybridity Reconsidered: Literature in a Globalized World” (Moderator: Asako Nakai; Panelist: Nahoko Miyamoto-Alvey; Commentator: Walter Benn Michaels), “The Future of Civilization: Hybridization or Purification?,” 28 April 2002, Division Meeting III, Hitotsubashi University (Tokyo)
  62. シンポジウム:「変貌するMark Twain——文学史と文化史」日本英文学会

- 第 74 回全国大会（司会：後藤和彦、講師：平石貴樹、辻本庸子 & 亀井俊介）  
2002 年 5 月 26 日、於・北星学園大学
63. ワークショップ：「John May, *Toward a New Earth* を読む」サウンディングズ  
英語英米文学会、2002 年 9 月 7 日、於・上智大学図書館 L-402
64. 講演：「若きギャツビーの文学史」日本フィッツジェラルド・クラブ 2002  
年度例会（司会・宮脇俊文）2002 年 10 月 13 日、於・学習院大学西 1 号館  
301 室
65. パネル：「英米批評の動向——エリオットと今日の展開」日本 T.S. エリオット  
協会第 15 回大会（司会：高柳俊一、講師：池田栄一、阿部公彦、巽孝之、  
荒木映子）2002 年 11 月 9 日、於・佛教大学成徳常照館図書館 5 階常照ホー  
ル
66. Symposium: “Nature—Urban, Rural, Wild” (Moderator: Katsunori Yamazato;  
Panelists: Scott Slovic, Takayuki Tatsumi, Cheryll Glotfelty, Robert Michael  
Pyle), ASLE International Symposium 1, 5 March 2003, Building of Law and  
Letters 215, University of the Ryukyus (Okinawa)
67. ワークショップ：「『アメリカ文学史——駆動する物語の時空間』について」  
サウンディングズ英語英米文学会、2002 年 3 月 29 日、於・上智大学図書館  
L-524
68. 講演：「批評する理性——祝辞に代えて」慶應義塾大学通信教育部入学式（司  
会：大森正仁）、2003 年 4 月 29 日、於・慶應義塾大学三田キャンパス西校  
舎 519 教室
69. 講演：「ロード・ナラティヴ事始——スタインベックとアメリカ文学史」第  
27 回日本スタインベック学会（司会：加藤光男）2003 年 5 月 26 日、於・  
創価大学本部棟 10 階第 4 会議室
70. 講演：「アメリカ文学と大統領」中四国アメリカ文学会第 32 回大会（司会：  
伊藤詔子）2003 年 6 月 14 日、於・就実大学図書館
71. シンポジウム：「アメリカ文学と映像表象」サウンディングズ英語英米文学  
会第 48 回研究発表会（司会：宮脇俊文、講師：巽孝之、榎木玲子、村上由  
見子）、2003 年 10 月 4 日、於・東京水産大学（現・東京海洋大学）共通講  
義棟 3F32 教室
72. シンポジウム：「マーク・トウェインとファンタジー」日本マーク・トウェ

- イン協会第7回研究発表会（司会：巽孝之、講師：志村正雄、有馬容子、小谷真理）2003年10月10日、於・桜花学園大学インフォメーションセンター
73. 講演：「バベル以前、バベル以後」第10回BABEL国際翻訳大賞授賞式典（司会：玉野岳志）、2003年11月13日、於・泉ガーデンタワー・コンファレンスセンター
74. 講演：「トランスアトランティック、トランスパシフィック」英語圏文化研究会第一回大会（司会：田口哲也）2003年12月20日、於・大阪市立大学法学部棟11階大会議室
75. シンポジウム：「女性と戦争Ⅱ——心の「教育」をめぐる」日本ペンクラブ女性作家委員会（司会：下重暁子、講師：高橋哲哉、入江曜子、小谷真理、香山リカ、茅野裕城子、巽孝之）、2003年12月1日、於・アルカディア市ヶ谷
76. ワークショップ：「クリプトミメシス——T.S. Eliotの“Tradition and the Individual Talent”を読み直す」サウンディングズ英語英米文学会、2004年3月18日、於・上智大学図書館L-822
77. シンポジウム：「日本ロレンス協会35周年記念プログラム——D.H. ロレンス：アメリカ、帝国」日本ロレンス協会設立35周年記念大会（司会：立石弘道、講師：大田信良、宇野邦一、巽孝之）2004年6月20日、於・日本大学芸術学部江古田校舎中講堂
78. 講演：「不思議の森のメディア——アメリカ文学と反知識人の伝統」福岡女子大学英文学会（司会：馬場弘利）2004年6月26日、於・福岡女子大学大会館ホール
79. 講演：「オープンキャンパス2004：アメリカ文学史のすすめ」2004年7月31日、慶應義塾大学三田キャンパス
80. 講演：「アメリカ文学史のすすめ」長野慶友会、2004年10月23日、24日、於・長野市勤労者女性会館しなのき
81. Roundtable: “International American Studies Journal Editors” (Moderator: R.J. Ellis), American Studies Association Annual Meeting, 12 November 2004, Room “Fairlie,” Hyatt Regency Atlanta Hotel (Atlanta, GA, USA)
82. 講演：「『2001年宇宙の旅』とアメリカの世紀」（司会：三好洋子）、2004年11月20日、於・関東国際高等学校体育館

83. シンポジウム：「アメリカを通して世界を読む」上智大学アメリカ・カナダ研究所特別企画『事典 現代のアメリカ』発刊記念（司会：松尾式之、講師：小田隆裕、巽孝之、能登路雅子、吉見俊哉）、2004年11月26日、於・上智大学8号館2階208号室
84. シンポジウム：「女性と戦争Ⅲ——報道における女性のイメージ」日本ペンクラブ女性作家委員会（講師：高遠菜穂子、小谷真理、野中章弘、道下匡子、与那覇恵子、コーディネーター：巽孝之）2004年12月3日、於・東京ウイメンズプラザB1ホール
85. 講演：「『リンカーンの世紀』その後——核の文学、文学の核」同志社大学アメリカ研究所「アメリカニズムの多角的研究」研究会（司会：細谷正宏）2004年12月18日、於・同志社大学今出川キャンパス博遠館2階H201
86. 講演：「アメリカ研究講演シリーズⅡ：The Cutting-Edge Lecture and Workshop Series in American StudiesⅡ」『『白鯨』アメリカン・スタディーズ——環太平洋想像力の変容』琉球大学アメリカ研究センター（司会：山里勝巳）2005年1月21日、於・琉球大学文系総合棟7F・多目的ホール
87. シンポジウム：「グローバル化時代の〈翻訳〉」東京外国語大学21世紀COEプログラム総合「グローバル化と多文化的想像力」（司会：和田忠彦、講師：巽孝之、西成彦、松浦寿夫）2005年1月27日、於・東京外国語大学マルチメディア・ホール
88. 講演：「アメリカの世紀——核の文学、文学の核」大阪慶友会、2004年3月5日、6日、於・尼崎クボタ研修センター
89. ワークショップ：「D・H・ロレンス『アメリカ古典文学研究』を読む」サウンディングズ英語英米文学研究会（司会：東郷公德）2005年3月12日、於・上智大学10号館322号室
90. シンポジウム：「物語と社会」森美術館シンポジウム（司会兼講師：荒木夏実、講師：福島富士男、巽孝之）2005年4月22日、於・六本木アカデミーヒルズ49階スカイスタジオ
91. シンポジウム：「『アメリカ民主主義の過去と現在』アメリカ学会第39回年次大会（司会：木南敦、講師：待鳥聡史、坂出健、松本悠子、渡辺靖、コメンテーター：巽孝之）2005年6月4日、於・京都大学時計台大ホール
92. Panel: “Narrative Strategies in Steinbeck’s Work” (Moderator: Scott Pugh;

- Panelists: Pugh, Miyuki Mawatari, Jun Kaneko, Satoru Tagaya), The 6th International Steinbeck Congress “John Steinbeck: Global Dimensions,” 7 June 2005, The Hotel Kyoto Garden Palace (Kyoto)
93. Panel: “Sexuality” (Moderator: Christopher Looby; Panelists: Betsy Erkkila, David Van Leer), The 5th International Melville Conference “Frederick Douglass and Herman Melville: A Sesquicentennial Celebration,” 23 June 2005 (New Bedford, MA, USA)
94. シンポジウム：「マンスリーセミナー『書物復権』第三回：学力崩壊時代に読書と教育を問う——〈理想の教室〉とは何か」（企画：みすず書房、司会兼講師：亀山郁夫、講師：小谷真理・佐藤良明・巽孝之）2005年6月30日、於・紀伊國屋ホール紀伊國屋書店新宿本店4階
95. 講演：「名古屋大学英文学会公開講座サマーセミナー——『白鯨』アメリカン・スタディーズ」（司会：神尾美津雄）2005年7月22日、於・名古屋大学大学院文学研究科会議室
96. 講演：「久留米大学比較文化研究所主催：アメリカ文学者ロレンス」（司会：飯田武郎）、2005年7月30日、於・久留米大学御井キャンパス500号館1階511教室
97. 講演：「世田谷市民サマーフォーラム：ニュー・アメリカニズム——文学と文化の現在」、2005年8月1日、2日、於・世田谷市民大学
98. 講演：「第25回「文学と新理論」研究会：むずかしい文学、むずかしい批評——Just Being Difficult?: *Academic Writing in the Public Arena* (edited by Jonathan Culler & Kevin Lamb [Stanford University Press, 2003])を読む」（司会：立石弘道）2005年10月2日、於・日本大学芸術学部B棟大学院講義室1
99. 研究発表：「ニュー・ベッドフォード報告——樂園と地獄の150周年」日本アメリカ文学会東京支部9月例会近代散文分科会（司会・佐藤光重）2005年9月24日、於・慶應義塾大学三田キャンパスAB会議室
100. 講義：文学部総合講座：蒐集の科学「恐竜のアメリカ」2005年10月11日、於・慶應義塾大学三田キャンパス南校舎444教室
101. ワークショップ：「ジャーナル編集から語るアメリカ文学研究——その現在と未来へのストラテジー」第44回日本アメリカ文学会全国大会（司会：伊

- 藤詔子、講師：折島正司、巽孝之、有木恭子、倉橋洋子、山本秀行) 2005年10月16日、於・北海学園大学札幌豊平キャンパス6号館3階C32教室
102. シンポジウム：「慶應英文学会（仮称）第1回大会：今、ここにある D. H. ロレンス」（司会兼講師：河内恵子、講師：麻生えりか、巽孝之、武藤浩史）2005年10月29日、於・慶應義塾大学三田キャンパス北館2Fホール
103. 講演：「同志社大学英文学会2005年度年次大会：『白鯨』オーディオ・ヴィジュアル」（司会：林以知郎）2005年10月30日、於・同志社大学今出川キャンパス明德館1番教室
104. Lecture: “Junk Art City: William Gibson's *Virtual Light* and the Future of Post-Apocalyptic Ecocriticism” (Moderator: Scott Slovic), The English Department's Literature and Environment Graduate Program, 7 November 2005, Mobley Room, Jot Travis Student Union, The University of Nevada, Reno (Reno, NV, USA)
105. シンポジウム：ケルン大学教授ハンス・エッセルボルン氏講演「ロボットとコンピューターは敵になるか？——アシモフのロボット作品からドイツSF文学まで」慶應義塾大学教養研究センター公開セミナー：敵か味方か——ロボットをめぐる文化（コメンテーター：巽孝之、前野隆司）2005年11月11日、於・慶應義塾大学日吉キャンパスJ14教室
106. シンポジウム：慶應義塾大学藝文学会「人造美女は可能か？」（司会：荻野アンナ、講師：巽孝之、新島進、宝野アリカ、立仙順朗）2005年12月16日、於・慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール
107. Symposium: “Interrogating Japan's Soft Power: The Soft Power of Narrative” (Moderator: Nancy Stalker; Panelists: Bill Tsutsui, Takayuki Tatsumi), 25 February 2006, Dean's Conference Room, GEB 3.312, The University of Texas at Austin (Austin, TX, USA)
108. ワークショップ：「ハーマン・メルヴィルの『白鯨』を読む」サウンディングズ英語英米文学研究会（司会：東郷公德）2006年3月27日、於・上智大学9号館357号室
109. シンポジウム：紀伊國屋書店創業80年記念シンポジウム「人類にとって文学とは何か」（司会・講師：巽孝之、講師：瀬名秀明、スーザン・ネイピア、小松左京）2007年4月29日、於・紀伊國屋書店新宿南店7階紀伊國屋サザ

ンシアター

110. Symposium: “Judging the Tiptree Award ‘WisCon 31’” (Panelists: Midori Snyer [M], Takayuki Tatsumi, Laurel Winter, Diane Silver), 26 May 2007, Senate A, Concourse Hotel (Madison, WI, USA)
111. 講演：松山大学大学院言語コミュニケーション研究科設立記念講演会「むずかしい文化、むずかしい解釈」(コーディネータ：伊藤詔子)2007年6月27日、於・松山大学カルフル3階
112. 講演：富士見高原夏季大学講演シリーズ「人と文化——アメリカとは何か」富士見町教育委員会、2007年8月16日、於・富士見町コミュニティ・プラザ大会議室
113. Plenary Lecture: “Total Apocalypse, Total Survivance: Melville, Salinger, Vizenor” (Moderator: Joao Ferreira), The 3rd World Congress of International American Studies Association (IASA), 23 September 2007, University of Lisbon (Lisbon, Portugal)
114. 講演&シンポジウム：慶應義塾創立150年講演会シリーズ「学問のすすめ21——文学のすすめ」(講師：巽孝之、荻野アンナ、川又千秋)2007年10月8日、於・ホテル仙台プラザ
115. ワークショップ：「“Tarr and Fether”あるいはTar and Feather——ポーを多文化戦略で読む」日本ポー学会年次大会(司会：井上健、報告者：河野智子、大串尚代、宮川雅、コメンテータ：巽孝之)2007年10月14日、於・広島経済大学1号館2階121教室
116. 講演：「第一回理論研究——来るべきアメリカニズム」新英米文学研究会10月例会(司会：福士久夫、公開対談者：小林憲二)2007年10月20日、於・早稲田奉仕園セミナーハウス
117. 講演：関西大学文学部講演会「『白鯨』をどう『読む』か」(司会：入子文子)2007年10月25日、於・関西大学千里山キャンパス第1学舎5号館E602教室
118. シンポジウム：「世紀末の見た未来——SFの発生と流行」日本比較文学会中部支部第24回支部大会(司会：長澤唯史、講師：小澤正人、新島進、コメンテータ：巽孝之)2007年11月24日、於・名古屋大学情報文化学部棟1階第1会議室

119. シンポジウム：「立命館大学国際言語文化研究所主催：国際乱歩コンファレンス——江戸川乱歩とグローバル文化としてのモダニズム」セッションⅣ「乱歩研究の前線：書誌、作品再分析、乱歩資料発掘とその資材の活用について」（司会：村田裕和、講師：藤井淑禎、巽孝之、浜田雄介、コメンテータ：菅聡子）2007年12月9日、於・立命館大学創思館カンファレンスルーム
120. シンポジウム：「西脇順三郎とモダニズムの神話」慶應義塾大学藝文学会（司会：巽孝之、講師：飯野友幸、萩野アンナ、四方田犬彦）2007年12月14日、於・慶應義塾大学三田キャンパス西校舎531教室
121. 講演：「世界情勢セミナー：アメリカ文学と大統領」世界情勢調査会（司会：服部礼次郎）2008年3月6日、於・帝国ホテル蘭の間
122. 講演：「小泉信三記念講座：シャーロック・ホームズの街で——小泉信三、南方熊楠、巽孝之丞」2008年5月12日、於・慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール
123. 講演：「北海道アメリカ文学会後援特別講演会：9・11以後のアメリカ、甦るモビィ・ディック」北海学園大学ポストモダニズム研究会（司会：本城誠二）2008年6月6日、於・北海学園大学6号館3階C30番教室
124. 講演&シンポジウム：「ランチタイム・レクチャー：アメリカの神話、日米のサラダボウル」2008年7月4日、於・国際文化会館樺山ホール
125. シンポジウム：「惑星思考のアメリカ文学」日本アメリカ文学会第47回全国大会（司会兼講師：山里勝己、講師：渡邊真理子、巽孝之、坂手洋二）2008年10月12日、於・西南学院大学2号館2階Ⅱ-201番教室
126. シンポジウム：「〈身体〉の加工と文学」日本近代文学会秋季大会（司会：乾英治郎&山口俊雄、講師：有元伸子、友田義行、巽孝之、吉村萬壱）2008年10月26日、於・東北大学川内北キャンパス・マルチメディア教育研究棟M206教室
127. 講義：文学部総合講座：愛とセクシュアリティ「沼正三『家畜人ヤブー』に見るSMF共同体」、2008年11月4日、於・慶應義塾大学三田キャンパス西校舎533番教室
128. 講演：公開講座：ヒロイン・ヒーローのアメリカ「フランクリン、エジソン、ガーンズバック——科学英雄の系譜」、2008年11月4日、於・群馬県立女子大学26号教室

129. 講演：「惑星思考のアメリカ文学史」慶應義塾大学通信文学会、2009年3月7日、於・港勤労福祉会館
130. ワークショップ：「反知性の帝国」サウンディングズ英語英米文学会、2009年3月14日、於・上智大学7号館5階セミナー室
131. Lecture: "Martin Weiner Lecture: Nuclear Literature / Literary Nucleus: Melville, Salinger, Vizenor" (Moderator: Michael T. Gilmore), Co-sponsored by the Dept of American Civilization at Harvard University, 22 April 2009, Olin-Sang 124, Brandeis University (Cambridge, MA, USA)
132. Lecture: "The Advent of Meguro Empress: Decoding the Avant-Pop Anime *TAMALA2010*" (Moderator: Susan Napier), 23 April 2009, Auditorium, Tufts University (Cambridge, MA, USA)
133. Lecture: "Poe's Gothic, Ranpo's Decadence: Sakate Yoji's 'The Attic' and the Tradition of Urban Voyeurism" (Moderator: Christopher Bolton), 27 April 2009, Griffin 6, Williams College (Williamstown, MA, USA)
134. Lecture: "Full Metal Apache: on the Post-Cyborgian Identity of Japanoids" (Moderator: Miri Nakamura), 28 April 28, Seminar Room, Mansfield Freeman Center for East-Asian Studies, Wesleyan University (Middletown, CT, USA)
135. Lecture: "Planetary Coincidences: Melville, Kubrick, Komatsu" (Moderator: Christopher Hill), April 29, 2009, Hall of Graduate Studies 217a, Yale University (New Haven, CT, USA)
136. Panel: "Transpacific Imaginings: Creative (Mis)Perceptions East and West" (Moderator: Michael Keezing; Panelists: Takayuki Tatsumi, Mari Kotani), Co-sponsored by the Departments of English and WAGS (Women and Gender Studies), 30 April 2009, Converse Hall, Amherst College (Amherst, MA, USA)
137. 講演：「ポーをめぐる二世紀」(司会：下河辺美知子) 2009年7月2日、於・成蹊大学10号館
138. Panel: The International Conference: Asian Digital Cultures 2, 7-8 July 2009, Institute of Ethnology, Academia Sinica (Nankang, Taipei, Taiwan)
139. Panel: "Transpacific Avant-Pop" (Moderator: Rebecca Suter; Panelists: Takayuki Tatsumi, Mari Kotani, Tomoko Aoyama), JSAA (Japanese Studies Association of Australia) -ICJLE (International Conference on Japanese Language Education)

- 2009 Conference, 15 July 2009, Mathews 102, University of New South Wales (Sydney, Australia)
140. Lecture: “Planetary Coincidences: Melville, Kubrick, Komatsu” (Moderator: Brett deBary), 3 September 2009, Uris HallG-08, Cornell University (Ithaca, NY, USA)
141. Lecture: “Poe and Rampo: A Transpacific Revival” (Moderator: Miryam Sas), 9 September 2009, 226 Dwinelle, University of California, Berkeley (Berkeley, CA, USA)
142. シンポジウム：「ポーと世界文学」日本エドガー・アラン・ポー学会第二回年次大会、共催：三田文学會、藝文学会、協賛：日本アメリカ文学会東京支部（司会兼講師：巽孝之、講師：鴻巣友季子、安藤礼二、井上健、高山宏）2009年9月20日、於・慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール
143. Symposium: “The Planetary Expanse Beyond National Boundaries in Literature” (Moderator: Akitoshi Nagahata; Panelists: Robert Lee, Yu-Cheng Lee, Gale F Sato, Karen Tei Yamashita), AALA (Asian American Literature Association) 20th Anniversary International Forum 2009, 27 September 2009, Port Island Campus, Kobe Women’s University (Kobe)
144. Panel: “Poe and Rampo” (Moderator: Takayuki Tatsumi; Panelists: Seth Jacobowitz, Mark Silver, William O. Gardner), The 3rd International Edgar Allan Poe Conference: The Bicentennial, 10 October 2009, Washington B, Hyatt Penn Landing (Philadelphia, PA, USA)
145. Panel: “Poe and Benjamin” (Moderator: Takayuki Tatsumi; Panelist: Kiyoshi Kasai; Respondent: Kentarou Komori), The 3rd International Edgar Allan Poe Conference: The Bicentennial, 11 October 2010, Washington B, Hyatt Penn Landing (Philadelphia, PA, USA)
146. パネル：「第26回国際コミュニケーションフォーラム：AR技術が拓くモバイルコミュニケーション」情報通信学会（コーディネーター：富田英典、講師：吉井英樹、小林亜令、渡辺浩式、佐藤一夫、巽孝之）2009年11月13日、於・関西大学東京センター
147. シンポジウム：「1939、2009——アメリカ研究の軌跡と展望・第二部「アメリカ研究の展望」立教大学アメリカ研究所（司会：阿部珠理、講師：中野聡、

- 大津留 [北川] 智恵子、巽孝之) 2009年11月14日、於・立教大学池袋キャンパス14号館D301番教室
148. 講演：慶應義塾創立150年記念・2009年度慶應義塾大学日吉キャンパス公開講座「天からの文(ふみ)を読み解いてみよう——世界天文年に因んで：2010年宇宙の旅」2009年12月5日、於・慶應義塾大学日吉キャンパス第四独立館D101番教室
149. Guest Scholar Luncheon Address: “Race and Black Humor: from a Planetary Perspective” (Moderator: Stefan Hall), International Conference of the Fantastic in the Arts [ICFA], 19 March 2010, Grand Ballroom, Orlando Airport Marriot (Orlando, FL, USA)
150. Workshop: “Planetaryity and American Literary Studies” (Moderator: Monica Siebert), Tocqueville Summer Institutes, 10 June 2010, Gottwald Science Conference Room, University of Richmond (Richmond, VA, USA)
151. Keynote Lecture: “Planetary Coincidences: Melville, Kubrick, Vizenor” (Moderator: Monica Siebert), Tocqueville Summer Institutes, 10 June 2010, Brown-Alley Room of Weinstein Hall, University of Richmond (Richmond, VA, USA)
152. 講演：「この不思議な惑星で——ヴェルヌ、フォークナー、小松左京」近畿大学文芸学部講演会、2010年7月2日、於・近畿大学Eキャンパス・A館301教室
153. 講演：「濫喩としての翻訳」第2回獨協大学大学院外国語学研究科・外国語学部共催シンポジウム「文化の翻訳」2010年10月3日、於・獨協大学東棟
154. Lecture: “Ninja and Ninjette: Towards the Theory of Planetary Iconology” Conference on Borderlessness and Youth Culture in Modern Japan, 15 October 2010, McGill University (Montreal, Quebec, Canada)
155. 講義：文学部総合講座：死と再生「リンカーン大統領の死と再生」2010年10月26日、於・慶應義塾大学三田キャンパス西校舎528番教室
156. 講演：「アメリカ南部の惑星思考——モンロー・ドクトリンと文学研究」(司会：下條恵子)、2010年10月29日、於・宮崎大学教育文化棟1階L105教室(宮崎)
157. 講演：「アメリカン・ルネッサンスの物語学」第63回日本英文学会九州支部大会(司会：小谷耕二)2010年10月31日、於・九州大学箱崎文系キャン

ンパス法文系講義棟 201 教室

158. シンポジウム:「文学・批評・翻訳」『三田文學』創刊 100 年記念シンポジウム(基調講演: 亀井俊介、シンポジウム: 末延芳晴、新島進、吉田恭子、巽孝之) 2010 年 11 月 6 日、於・慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール
159. シンポジウム:「ジェンダーの視点から読む英語圏児童文学」日本イギリス児童文学会第 40 回研究大会(講師: 小谷真理、夏目康子、横川寿美子、巽孝之) 2010 年 11 月 28 日、於・一橋大学国立キャンパス
160. シンポジウム:「アメリカン・ルネッサンス 70 周年」日本アメリカ文学会東京支部 12 月例会(講師: 高尾直知、斎木郁乃、武藤脩二、今福龍太、巽孝之) 2010 年 12 月 11 日、於・慶應義塾大学三田キャンパス西校舎 1 階 513 教室
161. 講演:「慶應義塾と英米文学 I: 福沢諭吉のアメリカ受容」愛知慶友会、2011 年 1 月 15 日、於・名古屋市市政資料館第三集会室
162. 講演:「慶應義塾と英米文学 II: 西脇順三郎とモダニズム以後」愛知慶友会、2011 年 1 月 16 日、於・名古屋市市政資料館第三集会室
163. 講演:「グローバリズムと惑星思考」NASSS(南山大学アメリカ研究センター) 2011 講演会、2011 年 1 月 22 日、於・南山大学 名古屋キャンパス L 棟 9 階 910 会議室
164. ワークショップ:「アンソロジー編纂の実際」サウンディングス英語英米文学会、2011 年 2 月 26 日、於・上智大学 11 号館 320 号教室
165. Keynote Lecture: “The Origin of Japan’s Soft Power: Science Fiction and Transpacific History” (Moderator: Reiko Abe Auestad), Workshop at the University of Oslo “Rethinking Contemporary Japan: Literary and Popular Cultural Perspectives: from Kanikôsen to Evangelion,” 18 March 2011, Georg Sverdrups Hus (University’s Main Library), University of Oslo (Oslo, Norway)
166. Keynote Lecture: “Panic Japanesque, Pax Exotica” (Moderators: Christina Nygren, Gunilla Lindberg-Wada), Open Workshop on Popular Culture, 26 March 2011, Department of Oriental Languages, Krafttriket 4A, Stockholm University (Stockholm, Sweden)
167. 講義: 文学部総合講座: 前衛と伝統「モダニズム事始」2011 年 4 月 26 日、於・慶應義塾大学三田キャンパス西校舎 528 番教室
168. シンポジウム:「日本英文学会関東支部の活動に何を期待するか」日本英文

- 学会関東支部 4 月例会（司会：原田範行、講師：丹治愛、巽孝之、中島平三、菊池清明、斎藤兆史）2011 年 4 月 30 日、於・成蹊大学 10-2F
169. 座談会：「アメリカン・ルネッサンスの女性像再考——ホーソーンを中心に」日本ナサニエル・ホーソーン協会第 30 回全国大会（司会：成田雅彦、講師：福岡和子、巽孝之）2011 年 5 月 20 日、於・西日本総合展示場 AIM 3 階会議室
170. シンポジウム：「ゼロ年代のアメリカ文化」アメリカ学会第 45 回年次大会部会 C（司会：都甲幸治、講師：大和田俊之、小澤英美、巽孝之、吉本光宏）2011 年 6 月 5 日、於・東京大学駒場キャンパス 13-2F
171. シンポジウム：「グローバル化とアメリカ研究の行方」“American Studies in the Global Age” NAASS（名古屋アメリカ研究夏期セミナー）2011 専門家会議（北米側講師：Paul Kramer, Jeremi Suri, Anita Patterson, 日本側コメンテーター：大津留〔北川〕智恵子、巽孝之、岡野八代）2011 年 7 月 23 日、於・南山大学名古屋キャンパス R 棟 1 階フラッテンホール
172. 講演：「アメリカ文学の面白さ——メルヴィル『白鯨』を中心に」立正大学英文学会年次大会（司会：斉藤昇）2011 年 9 月 25 日、於・立正大学大崎校舎 9 号館 B21 教室
173. シンポジウム：「アメリカ文学と自伝」日本マーク・トウェイン協会 2011 年度全国大会（司会兼講師：巽孝之、講師：渡辺利雄、若島正、松永京子）2011 年 10 月 7 日、於・近畿大学本部キャンパス Blossom Café 3 階多目的ホール
174. シンポジウム：「災害と文学」慶應英文学会第 7 回大会（司会：宇沢美子、講師：ウィリアム・スネル、原田範行、巽孝之、井上逸兵）2012 年 10 月 22 日、於・慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎シンポジウムスペース
175. Panel: ASAP (Association for the Study of the Arts of the Present) 3 “Planetary Postmodernisms” (Moderator: Brian McHale; Panelists: John Beverley, Takayuki Tatsumi, Heather Inwood), 29 October 2011, Room “Ft.Pitt,” Wyndam Grand Pittsburgh Downtown (Pittsburgh, PA, USA)
176. 講義：2011 年度慶應義塾大学日吉キャンパス公開講座「災害とメディア」第九回『『日本沈没』の未来——小松左京と SF 的想像力』（司会：坂本光）2011 年 11 月 5 日、於・慶應義塾大学日吉キャンパス第 4 校舎 1 階 J14 番教室

177. 講演：大東文化大学大学院英文学シンポジウム講演「ベンジャミン・フランクリンと自伝の物語学」（司会：山根亮一）、2011年11月13日、於・大東文化会館ホール
178. ワークショップ：「コメンタリーの作法」サウンディングズ英語英米文学会（司会：杉木良明）2012年2月25日、於・上智大学7号館4階英文学科セミナー室
179. 講演：春期講演会「リンカーンの英米文学史」日本女子大学英語英文学会（司会：大場昌子）2012年5月24日、於・日本女子大学目白キャンパス新和泉山館1階大会議室
180. シンポジウム：「スタインベック生誕110年、ノーベル賞受賞50年記念シンポジウム：『エデンの東』の多重空間を読み解く」第36回日本スタインベック協会（司会：鈴江璋子、講師：馬場美幸、中垣恒太郎、巽孝之）2012年5月28日、於・大東文化大学・大東文化会館ホール
181. シンポジウム：「フォークナーと現代文学」日本ウィリアム・フォークナー協会第15回全国大会（司会：中良子、講師：中谷崇、檜崎寛、巽孝之）2012年10月12日、於・中京大学名古屋キャンパスセンタービル2F・ヤマテホール
182. Panel: “Islands and American Culture” (Moderator: Mikayo Sakkuma; Panelists: Mary K. Bercaw Edwards, Mary Knighton, Michiko Shimokobe, Takayuki Tatsumi), The 110th Annual Conference of PAMLA (The Pacific Ancient and Modern Language Association), 20 October 2012, SU Pigott 308, Seattle University (Seattle, WA, USA)
183. Keynote Lecture: “Mr. Tagomi’s Planet: Somewhere between Surrealism and Postmodernism” (Moderator: Julia Sattler), The 1st International Philip K. Dick Conference “Worlds Out of Joint: Re-Imagining Philip K. Dick,” 15 November 2012, Department of English and American Studies, Technische Universität Dortmund (Dortmund, Germany)
184. 講演：創価大学総合講座「世界文学とポー」（司会：寒河江光徳）2012年12月21日、於・創価大学八王子キャンパス
185. ワークショップ：「甦るポール・ド・マン」サウンディングズ英語英米文学会、2013年2月23日、於・上智大学7号館4階英文学科セミナー室

186. 講演：西南学院大学英文学科主催講演会「オバマ以後のリンカーン——アメリカ大統領の文学思想史」(司会：宮本敬子) 2013年5月9日、於・西南学院大学2号館4階407教室
187. 講演：九州大学言語文化研究院主催講演会「文学批評の今日的課題——ド・マン、スピヴァック、ディモク」(司会：高橋勤) 2013年5月10日、於・九州大学伊都キャンパス比文言文棟321会議室
188. シンポジウム：「アトミック・エイジのアメリカ文学」九州アメリカ文学会第59回大会(司会兼講師：渡邊真理子、講師：巽孝之、松永京子、田吹香子)、2013年5月11日、於・県立長崎シーボルト大学M103教室
189. 講演：「惑星思考のブラックユーモア——9.11以後の視点より」佐賀大学アメリカ社会文化研究所学術講演会「9・11以後のアメリカ」(司会：早瀬博範) 2013年5月13日、於・佐賀大学教養教育棟125番教室
190. パネル：「9・11以後のアメリカ」佐賀大学アメリカ社会文化研究所主催学術講演会(司会：早瀬博範、講師：巽孝之、鈴木繁、高野悟郎、Coleman South) 2013年5月13日、於・佐賀大学教養教育棟125番教室
191. シンポジウム：「21世紀世界における惑星的想像力——response, responsibility, acknowledgmentの連環」日本英文学会第85回全国大会(司会兼講師：下河辺美知子、講師：古井義昭、里内克巳、鵜飼哲、レスポンダント：巽孝之) 2013年5月26日、於・東北大学川内キャンパスB棟2階B201教室
192. Panel: “Portraits of Lincoln: Melville, Whitman, et al.” (Moderator: Sean Meehan; Panelists: Christopher Allan Black, Robert S. Levine, Takayuki Tatsumi, Rich Lowry), The 9th International Melville Conference: “Melville and Whitman in Washington: The Civil War Years and After,” 4 June 2013, Marvin Center 309, George Washington University (Washington, DC, USA)
193. 講演：「リンカーンのアメリカン・ルネッサンス——もうひとつの『白鯨』」第二回日本メルヴィル学会年次大会(講師：巽孝之、司会：下河辺美知子) 2013年9月15日、於・専修大学神田キャンパス731教室
194. Lecture: “Planetary Coincidences: Melville, Salinger, Vizenor” (Moderator: Mark Seltzer), the UCLA Department of English and the Program for the Study of the Contemporary, 8 October 2013, 193 Humanities Building, University of

California, Los Angeles (Los Angeles, CA, USA)

195. Workshop: “Planet of the Frogs: Thoreau, Anderson and Murakami” (Moderator: Mark Seltzer), the UCLA Department of English and the Program for the Study of the Contemporary, 8 October 2013, 250 Humanities Building, University of California, Los Angeles (Los Angeles, CA, USA)
196. Panel: “Mark Twain: The View from Japan” (Moderator: Victor Fischer; Panelists: Takayuki Tatsumi, Masago Igawa, Takuya Kubo, Tsuyoshi Ishihara), The 48th Western Literature Association Conference, 10 October 2013, Yerba Buena, DoubleTree by Hilton (Berkeley, CA, USA)
197. Lecture: “Mr. Tagomi’s Planet: A Note on Speculative Fictionists Philip K. Dick, Chiaki Kawamata, Project Itoh” (Moderator: Linda Galvane), The Center for East Asian Studies, Stanford University, 31 October 2013, Room 102, 521 Memorial Way, Knight Building, Stanford University (Stanford, CA, USA)
198. Panel: “Legacies of Paul de Man in the 21st-Century Criticism” (Moderator: Michiko Shimokobe; Panelists: Fuhito Endo, Andrzej Warminski, Cynthia Chase, Takayuki Tatsumi), The 111th Annual Conference of PAMLA, 1 November 2013, Studio 601, Bahia Resort Hotel (San Diego, CA, USA)
199. 講演：「モダニズム文学と慶應義塾」南慶友会、2013年11月9日、於・慶應義塾大学三田キャンパス
200. シンポジウム：「報道されない女性虐殺——今、米墨国境（マキラドーラ）地帯で起こっていること」日本ペンクラブ女性作家委員会（講演：越川芳明、コメンテーター：斉藤修三、討論者：宇沢美子、小谷真理、小林エリカ、巽孝之、司会：茅野裕城子）2013年11月30日、於・慶應義塾大学大学日吉キャンパス
201. 講演：専修大学文学部英語英米文学科学術講演会「モダニズムの21世紀」2013年12月6日、於・専修大学10号館10303教室
202. シンポジウム：「慶應義塾の英文学 安東伸介没後十年記念シンポジウム：第二部 人文学の未来」慶應義塾大学藝文学会（講師：坂上弘、山内慶太、荻野アンナ、巽孝之、司会：宇沢美子）2014年1月18日、於・慶應義塾大学三田キャンパス西校舎517教室
203. シンポジウム：北海道文学館特別展「荒巻義雄の世界」開催記念パネルディ

- スカッション「荒巻 SF の原点を語る」(司会兼講師:巽孝之、講師:荒巻義雄、小谷真理、タヤンディエー・ドウニ、立原透耶、三浦祐嗣) 2014 年 2 月 11 日、於・北海道立文学館地下小講堂
204. シンポジウム:「21 世紀のモンロー・ドクトリン」科学研究費・基盤研究(B)「モンロー・ドクトリンの行為遂行的効果と 21 世紀グローバリズムの未来」(司会兼講師:下河辺美知子、講師:日比野啓、舌津智之、巽孝之「夢見る半球——ケネディ、ヤマシタ、ブロムカンプ」) 2014 年 3 月 29 日、於・成蹊大学 10 号館 2 階第 2 中会議室
205. シンポジウム:OYOYO ゼミ公開講座「北の想像力——〈北海道文学〉と〈北海道 SF〉をめぐる思索の旅」(講師:岡和田晃、巽孝之、三浦祐嗣、松本寛大、丹菊逸治) 2014 年 5 月 22 日、於・OYOYO カフェ
206. シンポジウム:「未来の記——比較文学と核時代」日本比較文学会第 76 回全国大会(司会兼講師:巽孝之、講師:橋本順光、タヤンディエー・ドウニ、小林エリカ) 2014 年 6 月 15 日、於・成城大学 3 号館
207. シンポジウム:「21 世紀批評におけるレトリックの可能性——ポール・ド・マンの歴史的意義」日本英文学会関東支部第九回大会(司会:佐久間みかよ、講師:高橋勇、下河辺美知子、巽孝之、土田知則) 2014 年 6 月 21 日、於・成城大学 7 号館 732 教室
208. シンポジウム:延世大学人文學研究院・慶應義塾大学文学部共同セミナー“Re-Mapping Modernisms: Novels in and around 1922”(司会:高橋勇、講師:ユン・ヒェジュン、河内恵子、巽孝之) 2014 年 6 月 19 日、於・慶應義塾大学三田キャンパス東館 8 階ホール
209. シンポジウム:「医療・科学・テクノロジー——人類学と人間科学複合領域の対話“Planetary Coincidences: Kubrick, Komatsu, Crichton”」慶應義塾大学論理と感性のグローバル研究センター(講師:巽孝之、司会:北中淳子) 2014 年 7 月 12 日、於・慶應大学三田キャンパス東館 6 階 GSEC LAB
210. ワークショップ:「マニフェスト・デスティニー以後の先住民——ジェラルド・ヴィゼナー文学を中心に」科研費補助金基盤研究 B「マニフェスト・デスティニーの情動的効果と 21 世紀惑星の想像力」(司会:巽孝之、報告者:宇沢美子、有光道生、加藤有佳織、牧野理英) 2014 年 7 月 17 日、於・慶應義塾大学三田キャンパス東館 4F セミナー室

211. 講演：「カッサンドラ・コンプレックス——予言の文学と環境批評」エコクリティシズム研究学会第27回大会（司会：伊藤詔子）2014年8月9日、於・神戸市外国語大学 UNITY ホール
212. 講演：「アメリカにおける文学と科学」アメリカ文学慶友会講演会、2014年10月11日、於・慶應義塾大学 三田キャンパス 南館 463 教室
213. Panel: “Arendt, de Man and MacCarthy” (Moderator: Fuhito Endo; Panelists: Sasha A. Ross, Michiko Shimokoube, Dan O’Neill, Takayuki Tatsumi), The 112th Annual PAMLA Conference, Session 9: Hannah Arendt Re-historicized, 2 November 2014, RCC Meeting Room 8 (Riverside, CA, USA)
214. Lecture: “Cyberpunk Japan and Avant-Pop America,” Transnational American Studies (Class by Shelley Fisher Fishkin), 4 November 2014, Room 160-314, Stanford University (Stanford, CA, USA)
215. Panel: “From America To Japan and Back: A Dialogue with Levy Hideo and Takayuki Tatsumi,” 4 November 2014, Room 224, Lathrop East Asia Library, 518 Memorial Way, Stanford University (Stanford, CA, USA)
216. Lecture: “Race and Black Humor: A Planetary Perspective” (Moderator: Amanda Kennel), 7 November 2014, Room 371, Taper Hall, University Park Campus, University of Southern California (Los Angeles, CA, USA)
217. Panel: “The Subversive Pleasures of Transnationalism: *The Journal of Transnational American Studies*” (Moderator: Greg Robinson; Panelists: Chris Suh, Nina Morgan, Shelley Fisher Fishkin, Takayuki Tatsumi, Alfred Hornung), ASA Annual Meeting 2014, 8 November 2014, San Pedro, Westin Bonaventure (Los Angeles, CA, USA)
218. シンポジウム：「イメージは語る——「新」・「旧」大陸における宗教図像とテキストの相関」科学研究費助成事業「英米文学におけるトランス・アトランティックなエンブレムの受容と変容」研究会（司会：松田美作子、講師：圓月勝博、木村三郎、巽孝之）2014年11月29日、於・成城大学 8号館 3階 832 教室
219. Panel: “Originality and Plagiarism” (Moderator: Alvin Holm; Panelists: Lesley Ginsberg, Carole M. Shaffer-Koros, Takayuki Tatsumi), The 4th International Edgar Allan Poe Conference, 1 March 2015, D Broadway, Roosevelt Hotel (New

York, NY, USA)

220. パネル：「見えないけど見える —— 女性と3・11」日本ペンクラブ女性作家委員会研究会（司会：巽孝之、講師：小林エリカ、ni\_ka、小谷真理）2015年3月7日、於・日本ペンクラブ3階大会議室
221. ワークショップ：「ハンナ・アーレントの文学史」サウンディングズ英語英米学会、2015年3月21日、於・上智大学7号館4階英文学科セミナー室
222. Lecture: “Transnational Black Humor: Somewhere between 9.11 and 3.11” (Moderator: Tomiko Yoda), 31 March 2015, Porte Room S250, Reischauer Institute, Harvard University (Cambridge, MA, USA)
223. Roundtable: “Rethinking the Local and the Global in *Pierre*” (Moderator: Robert S. Levine; Panelists: Joel Pfister, Takayuki Tatsumi, Jeannine DeLombard, Robert S. Levine), The 10th International Herman Melville Conference, 26 June 2015, Room A, East Building, Keio University (Tokyo)
224. 講義：「アメリカ文学史と大統領」2015年7月21日、於・北九州市立大学北方キャンパス 本館3階D-304教室
225. 講演：「慶應義塾有志の会シンポジウム —— 安全保障関連法案と《学問の自由》をめぐって：第一部「《有志》の声明をめぐって」（基調講演1：巽孝之、リレートーク第一部：赤江雄一、佐藤元状、遠藤秀徳、山道佳子、高桑和巳、清水健一、渡名喜庸哲）、2015年9月18日、於・慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール
226. Panel: “The Transpacific Imagination” (Moderator: Miryam Sas; Panelists: Tatsumi Takayuki, Shimokobe Michiko, Joseph Lavery), 4 November 2015, Geballe Room, Stephens Hall, Townsend Center, University of California, Berkeley (Berkeley, CA, USA)
227. Panel: “Transpacific Literary History” (Moderator: Michiko Shimokobe; Panelists: Zelideth Rivas, Fuhito Endo, Takayuki Tatsumi), PAMLA 113th Annual Conference, 8 November 2015, Portland Marriott City Center (Portland, OR, USA)
228. Keynote Lecture: “The Barren Land of Figures: The Intellectual Limits and Liminality of Auerbach, de Man and Mizumura,” The 7th Annual LiberLit Conference “For Discussion and Defense of the Role of ‘Literary’ Texts in the

- English Curriculum,” 22 February 2016, Room B, Tokyo Woman’s Christian University (Tokyo)
229. ワークショップ：「文学批評と映画批評」サウンディングズ英語英米文学会、2016年2月27日、於・上智大学7号館4階 英文学科セミナー室
230. Keynote Lecture: “Rock’n’ Roll Manga: Hideko MIZUNO and Her Sisters” (Convener: Frenchy Lunning), 桜 SGMS: Mechademia Conference on Asian Popular Cultures: Tokyo 2016 “Conflicts of Interest in Anime, Manga, and Gaming,” 19 March 2016, Room 123, Aoyama Gakuin University (Tokyo)
231. 講義：文学部総合講座：聖と俗「アメリカの聖と俗」2016年4月19日、於・慶應義塾大学 三田キャンパス西校舎 512 番教室
232. 講演：「捕鯨都市セイラム — ピューリタン文学の起源」日本ナサニエル・ホーソーン協会 第35回大会（司会：白川恵子）2016年5月27日、於・同志社大学室町キャンパス寒梅館地下1階 A 会議室
233. 講演：「学者批評家の使命 — ポール・ド・マンの場合」大阪大学言語社会学会（司会：渡邊克昭）2016年6月23日、於・大阪大学 箕面キャンパス 外国学図書館 AV ホール
234. 講演：「トマス・ジェファソン草稿「独立宣言」成立過程の一考察」日本学術会議 言語・文学委員会 古典文化と言語文科会（第23期・第5回）2016年7月29日、於・日本学術会議 5-C (1) 会議室
235. Panel: “Contemporary Science Fiction: Imagining (Asian) Bodies and Re-examining Humanity” (Panelists: Denis Taillandier, Kazue Harada, Noriko Yamamoto, Haerin [Helen] Shin; Discussant: Takayuki Tatsumi), AAS-in-ASIA 2016 “Asia in Motion: Horizons in Hope,” 26 June 2016, Shikokan (SK) 110, Doshisha University (Kyoto)
236. Symposium: “AU-DELA DE RANPO - Images et subversion” (Modelator: Anne-Bayard Sakai; Panelists: Takayuki Tatsumi, Miharuru Nakamura, Shigemi Nakagawa; Discussant: Reiko Abe Auestad), “Edogawa Ranpo, or the Labyrinths of Japanese Modernity,” 14 October 2016, Le bâtiment “Buffon,” Université Paris Diderot (Paris, France)
237. Lecture: “Cyberpunk Renaissance: Gibson, Tsukamoto, Blomkamp” 17 October 2016, Sala Convegna, Dipartimento di Lingue, Letterature e Culture Moderne,

Università di Bologna (Bologna, Italy)

238. 講演：「『脱領域』再考——九龍城砦とサイバーパンクの想像力」フラフラモヤモヤ会、2016年10月21日、於・日仏会館内 L'espace レスパス
239. 講演：「シャーロック・ホームズの街で——小泉信三、南方熊楠、巽孝之丞」（司会：高山宏）、2016年10月24日、於・大妻女子大学多摩校 比較文化学部棟1階3130教室
240. シンポジウム：「巽豊彦名誉教授生誕百周年記念シンポジウム」上智大学英文学科同窓会総会（講師：ピーター・ミルワード、小谷真理、三好洋子、巽孝之、司会：吉田紀容美）2016年11月6日、於・上智大学2号館5階508教室
241. Panel: "Psychoanalysis as an American Frontier: What Freud Discovered" (Moderator: Fuhito Endo; Presenters: Todd Dufresne, Keiko Ogata, Takayuki Tatsumi), PAMLA 114th Annual Conference, 11 November 2016, The Westin Pasadena (Pasadena, CA, USA)
242. 講演：「アメリカ文学史と大統領」和洋女子大学英文学会講演会（司会：佐久間みかよ）2016年12月19日、於・和洋女子大学東館16階会議室1
243. シンポジウム：日本学術会議公開シンポジウム「どう実践する！ジェンダー平等——人文社会科学系学協会における男女共同参画推進に向けて」第2部「人文・社会科学系の各学会での男女共同参画の現状と取り組みについて」（コーディネイター：伊藤公男、吉田克己、講師：井野瀬久美恵、大谷哲、巽孝之、佐藤岩夫、上林憲雄）2017年1月21日、於・日本学術会議講堂
244. ワークショップ：「大学という物語——Academic Novel を中心に」サウンディングズ英語英米文学会、2017年3月4日、於・上智大学7号館4階英文学科セミナー室
245. シンポジウム：「エクストラテリトリアルの文学——脱領域・脱構築・脱半球」世界文学・語圏横断ネットワーク Cross Lingual Network 第6回研究集会（講師：今福龍太、土田知則、茅野裕城子、司会兼講師：巽孝之）2017年3月28日、於・東京外国語大学 研究講義棟2F226教室
246. シンポジウム：「サイエンス・フィクションの系譜学のために」スーパー・グローバル・プロジェクト（講師：ローラント・インナーホーファー、コメンテーター：巽孝之、新島進、司会：識名章喜）2017年4月20日、於・慶

應義塾大学三田キャンパス北館 1F ホール

247. ワークショップ: 「ジャン＝ミシェル・ラバテ教授と『モーセと一神教』を再読する」(講師: ジャン＝ミシェル・ラバテ、講師: 巽孝之、原和之、中山徹、騎馬秀太、司会兼講師: 遠藤不比人) 2017年5月9日、於・成蹊大学10号館2階大会議室
248. シンポジウム: 「反エスタブリッシュメントの系譜」アメリカ学会第51回年次大会(司会: 宇沢美子、討論: 宇野重規、報告: 会田弘継、南修平、巽孝之) 2017年6月4日、於・早稲田大学早稲田キャンパス大隈講堂
249. Panel: “The Melvillean Body: Work and Violence” (Moderator: Christopher Sten; Panelists: Vivian Delchamps, Ashley Gangi, Liya Liu, Takayuki Tatsumi), The 11th International Herman Melville Conference, 27 June 2017, Council Room (K.2.29), King’s College, London (London, UK)
250. Panel: “Technologies of (In)visibility in Japanese Science Fiction Organizer” (Moderator: Baryon Tensor Posadas; Panelists: Yusung Kim, Denis Taillandier, Kazue Harada, Baryon Tensor Posadas; Discussant: Takayuki Tatsumi), The 21st Asian Studies Conference Japan, 9 July 2017, Room X202, Rikkyo University (Tokyo)
251. 講演: 富士見高原夏季大学「避暑地の文化史——富士見高原愛好会の50年」2017年8月23日、於・コミュニティ・プラザ大会議室
252. Keynote Lecture: “Transpacific Cyberpunk: Extraterritorial Interactions between Prose, Cinema and Manga” (Convener: Frenchy Lunning), Mechademia Conference on Asian Popular Cultures 2017, 22 September 2017, Auditorium 150, Minneapolis College of Art and Design (Minneapolis, MN, USA)
253. シンポジウム: 「今、コウルリッジの『文学的自叙伝』をどう読むか——文学研究におけるその現代的意義」第43回イギリス・ロマン派学会全国大会(司会兼講師: 笹川浩、講師: 大河内昌、中村仁紀、ゲスト: 巽孝之) 2017年10月22日、於・専修大学生田キャンパス
254. シンポジウム: 「ジュール・ヴェルヌ再発見——作家と大衆作家」日本ジュール・ヴェルヌ研究会(講師: 三枝大修、荒原邦博、新島進、石橋正孝、島村洋二、フォルカー・デース、識名章喜、巽孝之) 2017年10月22日、於・慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎シンポジウムスペース

255. Lecture: "Transpacific Cyberpunk: Transgeneric Interactions Between Prose, Cinema and Manga" 8 November 2017, Hall Auditorium, Concordia University (Montreal, Quebec, Canada)
256. シンポジウム: 「ポカホンタスの 400 年 — 環大西洋文学史を再考する」日本アメリカ文学会東京支部 12 月例会 (司会兼講師: 下河辺美知子、講師: 大串尚代、余田真也、原田範行、ディスカッサント: 巽孝之) 2017 年 12 月 9 日、於・慶應義塾大学三田キャンパス西校舎 528 番教室
257. 講義: 「もう一度よみたい名著 メルヴィル『白鯨』」2018 年 2 月 17 日、於・朝日カルチャーセンター朝日 JTB・交流文化塾新宿教室
258. 講演: ブックハウスカフェ・文学うさぎの研究所 Vol. 2 「オズの果てへの旅 — またはアメリカ最初の童話」2018 年 2 月 16 日、於・北沢書店 Book House Café
259. ワークショップ: 「ペダゴジーの詩学」サウンディングズ英語英米文学会、2018 年 3 月 3 日、於・上智大学 7 号館 4 階英文学科セミナー室
260. シンポジウム: 科研費研究会最終年度特別シンポジウム「マニフェスト・デスティニーと 21 世紀アメリカ合衆国の現実」(司会兼講師: 下河辺美知子、講師: 日比野啓、舌津智之、巽孝之) 2018 年 3 月 22 日、於・成蹊大学 10 号館 2 階第 2 中会議室
261. シンポジウム: 国際メディア女性文化研究所・設立記念シンポジウム「21 世紀に求められる人文科学と大学教育 — 大学改革と人間形成」(司会: 北田幸恵; 講師: 巽孝之、荒木勝、上野千鶴子、中沢けい、芦辺拓、阿木津英) 2018 年 4 月 14 日、於・日本女子大学目白キャンパス新泉山館 1 階大会議室
262. 講義: 文学部総合講座: メディアとしての身体「帝国の身体 — アメリカ命名から明白な運命まで」2018 年 4 月 17 日、於・慶應義塾大学三田キャンパス西校舎 513 番教室
263. シンポジウム: 「「文化」を考える — 日本英文学会における文化研究の可能性」日本英文学会第 90 回全国大会 (司会: 原田範行、講師: 巽孝之、川端康雄、永井敦子、黒崎政男) 2018 年 5 月 20 日、於・東京女子大学 24 号館 2 階 24202
264. Plenary Lecture: "In Pym's Footsteps: Poe, Ooka, Ballard" (Moderator: Paul Lewis), The International Poe and Hawthorne Conference, 23 June 2018, Ball

Room “Aoi,” Kyoto Garden Palace (Kyoto)

265. Symposium: “Can We Clean It Up?: Purity, Corporeality, and Pollution in Early Modern and Modern Japanese Literature of Love and Eros” (Moderator: Linda Galvane; Panelists: David J. Gundry, Davis, Takayuki Yokota-Murakami, Linda Galvane; Discussant: Takayuki Tatsumi), The 22nd Asian Studies Conference Japan, 30 June 2018, Room 253, International Christian University (Tokyo)
266. シンポジウム:「国際的研究の未来」第6回日本メルヴィル学会年次大会(司会:古井義昭、登壇者:牧野有通、巽孝之、コメンテータ:辻祥子、田ノ口正悟)2018年9月8日、於・専修大学神田キャンパス7号館771号室
267. 講演:「ケイコ・イトウ『わが上海:1942-1946』を読む——横浜正金銀行と日系社会」第26回アジア系アメリカ文学会フォーラム(司会:山本秀行)2018年9月9日、於・早稲田大学早稲田キャンパス8号館3階308教室
268. Keynote Lecture: “Ghost in the City—Towards the Aesthetics of the Cyber-Picturesque” (Moderator: Thomas Lamarre), Centre for Asia-Pacific Initiatives Conference “The Nonhuman in Japanese Culture and Society: Spirits, Animals, Technology,” 22 September 2018, FRA 159, University of Victoria (Victoria, British Columbia, Canada)
269. Symposium: “Dr. Franklin’s Children: Frankenstein, Tesla and Gernsback,” Sophia International Symposium “The Humanity and the Post-Human in Mary Shelley’s *Frankenstein*: A 200th Anniversary Symposium” (Panelists: Takayuki Tatsumi, Jerrold E. Hogle, Noah Heringman; Moderators: Laurence Williams, Kimiyo Ogawa), 14 October 2018, Central Library 9F L921, Sophia University (Tokyo)
270. シンポジウム:「Symposium of Rock vol.5 King Crimson: 革新的ロックの錬金術」——プログロック・ルネッサンス(講師:巽孝之、坂本理、林浩平)2018年10月14日、於・クラブチッタ・アティック
271. 講演:連続講演会『知舞い学踊る。大妻の空、大妻の夏。』第7回「パラノイドの帝国」(司会:高山宏)2018年11月3日、於・大妻女子大学千代田キャンパスH棟113教室
272. Workshop: “Ghost in the City: Towards the Aesthetics of the Cyber-Picturesque,” CAPS Workshop “Cyberpunk Tokyo Revisited: The Transpacific Imaginings of

- Science Fiction” (Moderator: Fuhito Endo; Panelists: Takayuki Tatsumi, Brian White, Dougal McNeill), 30 November 2018, Medium Conference Room 2, Building 10, Seikei University (Tokyo)
273. シンポジウム：「慶應義塾文学科教授・永井荷風——『三田文学』通巻 800 号突破を記念して」慶應義塾大学藝文学会（司会兼講師：巽孝之、講師：末延芳晴、持田叙子、ピーター・バナード、コメンテータ：萩野アンナ）2018 年 12 月 14 日、於・慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール
274. 講演：「『白鯨』と産業社会——メルヴィル生誕 200 周年」慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科サービスデザインコース：サービスデザイン・シンポジウム（司会：佐藤千尋）2019 年 3 月 4 日、於・慶應義塾大学三田キャンパス東館 6 階 G-Lab
275. Symposium: “Representing Slavery” (Moderator and Respondent: Mark Miller; Panelists: Takayuki Tatsumi, Rebecca Cheong, Tomoyuki Zettsu), The 12th International Melville Society Conference, 17 June 2019, Washington Square Campus, New York University (New York, NY, USA)
276. Symposium: “American Contexts” (Moderator: Hiromi Ochi; Panelists: Takayuki Tatsumi, Michiko Shimokobe, Alex Watson), An International Conference on The Aesthetic Mechanisms of Ocean Representations in British, American, and Asian Contexts, 13 July 2019, Conference Room 601, Building 6, Seikei University (Tokyo)
277. Symposium: Todd Dufresne’s Workshop on *Moses and Monotheism*: “A Transdisciplinary Approach” (Moderator: Fuhito Endo; Lecturer: Todd Dufresne; Discussants: Takayuki Tatsumi, Yoshiko Uzawa), 4 July, 2019, Mita Campus, Keio University (Tokyo)
278. 講演：「アメリカ文学とフロンティア」極東証券株式会社寄付講座・慶應義塾大学文学部公開講座・文学部のひらく世界 第 3 回（司会：井上櫻子、講師：巽孝之、新島進）2019 年 7 月 20 日、於・慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール
279. Lecture: “Lafcadio Hearn: The Unsung Hero of Japanese Science Fiction and Fantasy” (Moderator: Mari Kotani), The 77th World Science Fiction Convention “Dublin2019,” 15 August 2019, Convention Center Dublin Liffey Hall 2 (Dublin,

Ireland)

280. シンポジウム：『三田文學』137号特集関連企画「SFの透視図——生頼範義の作品世界」（司会：糸川麻里生、登壇者：川又千秋、オーライタロー、巽孝之）、2019年8月23日、於・慶應義塾大学三田キャンパス 東館4階G-Lab
281. Symposium: “Humans in a Non-Human Future: Computation, Translation, and The Three-Body Problem” (Moderator: Keiko Furuki; Keynote Speaker: Wai Chee Dimock; Guest Commentator: Takayuki Tatsumi; Discussants: Kyoko Matsunaga, Nathaniel H. Preston), 28 September 2019, Rokkodai 2nd Campus, Kobe University (Kobe)
282. シンポジウム：「トウエインと演劇」日本マーク・トウエイン協会第23回全国大会（司会：江頭理江、講師：宇沢美子、巽孝之、山本秀行）2019年11月2日、於・慶應義塾大学三田キャンパス西校舎527教室
283. 講演：松本清張記念館特別企画展「E・A・ポーと松本清張」オープニング式典記念講演「推理小説の起源」2019年11月15日、於・北九州市立松本清張記念館、
284. Symposium: “Building Transnational American Studies Scholarship: The New Routledge Companion” (Moderator: Nina Morgan; Panelists: Mary A. Knighton, William Nessly, Alfred Hornung, Boris Vejdovsky, Takayuki Tatsumi, Shelley Fisher Fishkin; Comments: Isabel Duran, Carmen M. Mendez-Garcia), ASA Annual Conference, 7 November 2019, Hawai'i Convention Center (Honolulu, HI, USA)
285. Panel: “Transpacific Turn” (Panelists: Yoshiko Uzawa, Hiromi Ochi, Mary Knighton; Moderator: Takayuki Tatsumi; Discussants: Mark Seltzer, Alfred Hornung), The International Conference on Transnational American Studies: “Trans-Pacific, Trans-Atlantic, Trans-Chronological,” 6 December 2019, East Research Building, Mita Campus, Keio University (Tokyo)
286. Symposium: “Growing (with) Poe” (Panelists: Emron Esplin, Scott Peeples, J. Gerald Kennedy, Margarida Vale de Gato, Takayuki Tatsumi), The 2nd International EAPSA Conference “Beyond Childhood and Adolescence ... Growing with Edgar Allan Poe,” 5 February 2020, Fundación Unicaja (Almería, Spain)

287. Symposium: “American Manhood: Around the Turn into the Twentieth Century” (Panelists: Kathleen Dalton, E. Anthony Rotundo, Kaori Hosono; Commentator: Takayuki Tatsumi; Moderator: Yoshiko Uzawa), 3 February 2020, North Hall, Mita Campus, Keio University (Tokyo)
288. Symposium: “Psychoanalysis, Literature and Film Redefined: Dialogues with Professor Jean-Michel Rabaté” (Lecturer: Jean-Michel Rabaté; Moderator: Fuhito Endo; Discussants: Takayuki Tatsumi, Kazuyuki Hara, Toru Nakayama, Barnaby Ralph, Marie Geraldine Rademacher), 1 March 2020, Seikei University (Tokyo)
289. Keynote Lecture: “Translating and Adapting American Renaissance Writers in Japan” (Moderator: Joshua Mostow), The International Conference “Translation and Modernity in Japan,” 5 March 2020, Asian Center, The University of British Columbia (Vancouver, Canada)
290. シンポジウム: 日本学術会議 言語・文学委員会「人文学の国際化と日本語」(司会: 吉田和彦&竹本幹夫、講師: クリス・タンクレディ、木部暢子、窪菌晴夫、平田昌司、メアリ・ナイトン、沼野充義、巽孝之、ロバート・キャンベル)、2020年7月19日、於・日本学術会議5-C(1)会議室

## 受賞歴一覧

- 1984年12月 第7回日本英文学会新人賞(論文「作品主権をめぐる暴力——*Narrative of Arthur Gordon Pym* 小論」)
- 1989年5月 1988年度日米友好基金アメリカ研究図書賞文学部門(『サイバーパンク・アメリカ』)、
- 1992年4月 第2回日本翻訳大賞思想部門賞(ダナ・ハラウエイ他[編訳書]『サイボーグ・フェミニズム——ハラウエイ、ディレイニー、サーモンズン』)
- 1994年7月 米国SFRA主催第5回パイオニア賞(Larry McCafferyとの共著論文“Towards the Theoretical Frontiers of Fiction: From Metafiction and Cyberpunk through Avant-Pop”による)
- 1996年11月 平成8年度慶應義塾大学福澤賞(『ニュー・アメリカニズム——米文学思想史の物語学』)

2001年3月 第21回日本SF大賞（『日本SF論争史』）

2010年3月 2010年度国際幻想芸術学会学術賞（The 2010 IAFA [International Association of the Fantastic in the Arts] Distinguished Scholarship Award, 単著 *Full Metal Apache: Transactions between Cyberpunk Japan and Avant-Pop America* 他の業績による）

